

第5次岸和田市総合計画 将来ビジョン・岸和田

第1期 基本計画

【2023～2026年度】

(素案)

(令和4年5月23日時点)

【目 次】

① 総合計画の概要(※調整中)	
② 第1期基本計画の重点目標(※調整中)	
③ 本 編	5
◇ 基本目標 岸和田の次世代を育むまち.....	6
◇ 基本目標 健康で自分らしく生きられるまち.....	34
◇ 基本目標 安全で安心して暮らせるまち	52
◇ 基本目標 人と自然が共生した住みよいまち	62
◇ 基本目標 賑わいと活力を創造するまち.....	72
◇ 基本目標 みんなでつくる持続可能なまち	86
④ 資料編(※調整中)	

③ 本 編

基本目標 岸和田の次世代を育むまち

【 個別目標 と 個別目標の方向性 】

安心して子どもを生み、育てられている

- ① 切れ目のない妊産婦や乳幼児の健康づくりを進める
- ② 妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消や精神的負担、経済的負担の軽減を進める

働きながら子育てができています

- ① 保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる環境づくりを進める

子どもの健康と安全が保たれている

- ① 健診などによる疾病の早期発見・予防など 子どもの健康づくりを進める
- ② 食育や体力づくりなど子どもの健康な身体づくりを進める
- ③ 登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる環境づくりを進める
- ④ 障害のある子どもの発達支援とともに、家庭生活での負担軽減を進める
- ⑤ 育てにくさを感じる親への支援や、児童虐待に関する相談の充実、早期発見・早期対応を進める

子どもの個性や能力が豊かに育まれている

- ① 適正な就学・就園や経済的な支援により教育の機会を確保する
- ② 子ども一人ひとりが輝けるための適切な支援を行う
- ③ 学校園の適正な施設整備や魅力ある運営を行う
- ④ 地域と連携し、子どもの社会的な心を育む
- ⑤ 地域の産業を担う人材育成を進める

生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている

- ① 様々な学びの活動や知識、経験の活用を進めるとともに、コミュニティのつながりを創出する
- ② スポーツへの親しみ向上や参画を進めるとともに、スポーツで活躍できる環境づくりを進める
- ③ 芸術や文化への親しみや参画の機会を通して、心の豊かさの醸成を図る

誰もが社会参加し、活躍できる場がつくられている

- ① 働きたい人の就労機会の確保を進める
- ② 市内事業所の労働環境の向上を進める
- ③ 障害者の就労支援の充実と生きがいづくりを進める
- ④ 高齢者の雇用促進と生きがいづくりを進める

郷土の歴史や文化が引き継がれている

- ① 郷土の歴史や文化に触れる機会をつくる
- ② 岸和田の歴史や文化の保存・活用を進める

個別目標 安心して子どもを生み、育てられている

個別目標の 方向性

① 切れ目のない妊産婦や乳幼児の健康づくりを進める

現状と課題

近年の晩婚化や未婚率の上昇、女性の就業率の増加などにより、本市においても出生率の減少や高齢出産数の増加がみられる中、乳児死亡率がやや高い傾向にあります。

今後も、妊産婦や乳幼児の健康づくりを支援するため、市立岸和田市民病院の産科診療体制の充実をはじめ、妊産婦家庭への個別相談などの充実や健診の促進が求められています。

みんなでめざそう値

指標A 乳児死亡率

〇% ▶ 〇%
(2022年) (2026年)

指標B 幼児のう歯(虫歯)保有率

〇% ▶ 〇%
(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標



個別目標の 方向性

② 妊娠を望む家庭や子育て家庭の不安解消、 経済的負担の軽減を進める

現状と課題

核家族化や都市化、さらに新型コロナウイルス感染症等の影響から、家庭の子育て機能や地域社会のつながりは弱まる傾向にあり、子育てに不安を抱きつつも相談することができず孤立する家庭や経済的に不安を抱える家庭の増加、子どもの貧困などの問題が見られます。

地域で気軽に相談できる機会や居場所がつけられるとともに、子育てに関する情報発信や共有できる仕組み、経済的な負担の軽減など、安心して子どもを育てるための環境づくりが求められています。

みんなでめざそう値

指標A 地域子育て支援センターの利用者数

〇人 ▶ 〇人
(2022年) (2026年)

指標B 岸和田は子どもを生み育てやすいと感じている市民の割合

〇% ▶ 〇%
(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標



妊産婦や乳幼児の健康づくり、妊娠を望む家庭や子育て家庭の精神的負担や経済的負担の軽減を進めることで、安心して子どもを生み、育てやすい環境をめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- 妊婦健診や乳幼児健診など、健診をしっかり受ける
- 乳幼児の健康管理や成長発達の把握に努め、必要に応じて育児相談を受ける
- 地域住民が子育てのための活動に積極的に取り組む



事業者・団体・地域など

- 事業者は、子育てにやさしい就業環境づくりに取り組む



行政

- 個別訪問など、妊産婦や乳幼児の健康管理を支援する

各主体をつなぐ取組や 公民連携の取組例

- 保健師など専門職への相談を仲介する

関連する 主な個別計画



個人や家庭

- 子育てに関するイベントやSNSを活用して情報を発信する



事業者・団体・地域など

- 子育てに関するイベントやSNSを活用して情報を発信する
- 親子で楽しめる場を提供する
- 子育てに関する取組へ協賛する



行政

- 子育て家庭が安心して相談できる場や機会の提供、子育て情報の発信を行う
- 妊娠を望む家庭や子育て家庭の経済的な支援を行う
- 子育て家庭が安心して過ごせる場を提供する
- 子育てに関する講座が受講できる機会を提供する
- 母子の保護と自立のための支援を行う

各主体をつなぐ取組や 公民連携の取組例

- 関係機関や団体と子育て家庭、子育て家庭同士をつなぐ

関連する 主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

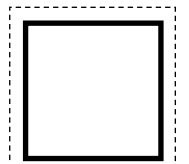
健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち



個別目標 働きながら子育てができている

個別目標の 方向性

① 保育を必要とする人が、安心して子どもを預けられる 環境づくりを進める

現状と課題

共働き世帯の増加と核家族化により、家庭内だけで子どもを育てることが難しくなっています。本市における子育て世代の女性就業率の上昇がみられる一方、民間も含め、保育の量の確保が間に合っておらず、子どもを預けたいのに預けられないという待機児童の問題も依然として解消していない状況です。

また、育児休暇の取得率も上昇傾向にはありますが、進んでいない事業者や男性の取得率の向上も課題になっています。

就学前、学童における保育の質と量の確保に加え、保護者が安心して働きながら子育てできるつながりの創出や機会が必要です。

みんなでめざそう値

指標A 保育所待機児童数

○人 ▶ ○人
(2022年) (2026年)

指標B チビッコホーム待機児童数

○人 ▶ ○人
(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標





子育て家庭が、働きながら安心して子育てできる環境をめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- 性別に関係なく、育休産休の取得を理解し協力する
- 共働き世帯や同じ立場の人と交流し、悩みや経験を共有する
- 地域活動に参加し、子育てや教育について話す場をつくる
- 結婚や離婚について気軽に経験を話せる場をつくる
- 子育てに悩んでいる人が子育て経験のある人からサポートを受けられる環境をつくる



事業者・団体・地域など

- 従業員が育休産休、子どもに関する休みを取りやすい環境をつくる
- 子どもの保育所等への送迎を支援する
- 遊休不動産などを活用して、企業内保育所など子どもを預けられる施設を整備する



行政

- ニーズに応じた保育や学童保育の量の確保を行う
- 子育て家庭が安心して相談できる場や機会の提供、子育て情報の発信を行う(P.9再掲)

各主体をつなぐ取組や
公民連携の取組例

- 保育情報の提供やマッチング支援を行う

関連する
主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

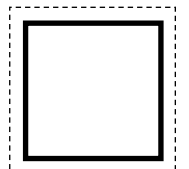
健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち



個別目標 子どもの健康と安全が保たれている

個別目標の 方向性

① 健診などによる疾病の早期発見・予防など 子どもの健康づくりを進める

現状と課題

子どもの心身の健康を保持するためには、疾病の早期発見と予防を図ることに加えて規則正しい生活習慣を身につけることが大切です。

う歯(虫歯)のある子どもの割合は減少傾向にありますが、歯や口腔も含めた定期的な健診など子どもの健康管理を行うとともに、保護者の生活習慣の見直しも必要です。

みんなでめざそう値

指標A 児童・生徒のう歯(虫歯)保有率

○% ▶ ○%

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標



個別目標の 方向性

② 食育や体力づくりなど子どもの健康な身体づくりを進める

現状と課題

乳幼児期は、「基本的な生活習慣を身につけ」、学童・思春期は、「きちんと食べ、よく遊び、よく学び元気にのびのび育つ」環境を整えることが、子どもの発育や成長を促すことにつながります。

毎日、朝食を食べる児童・生徒の割合は、増加傾向にありますが、全国平均より低いいため、引き続き、適切な食習慣の理解促進が必要です。

みんなでめざそう値

指標A 「朝食を毎日食べていますか」に肯定的回答をした児童生徒の割合

○% ▶ ○%

(2022年) (2026年)

指標B 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の全国平均値との差

Op ▶ Op

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標





すべての子どもたちが心身ともに健康で、安全な環境のもとで適正な教育を受けられていることをめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- 家庭内で規則正しい生活環境をつくる
- 子どもの健康に関心を持つ



事業者・団体・地域など

- 健康増進イベント等を開催、協力する



行政

- 健康診断等により、疾病などの早期発見と予防を図り、子ども健康管理を支援する

各主体をつなぐ取組や
公民連携の取組例

- 家庭と保健師など専門職とをつなぐ

関連する
主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち

想定される公民の役割



個人や家庭

- バランスのよい食事の提供など、家庭内での食育を心掛ける



事業者・団体・地域など

- 子ども食堂などで食育を推進する



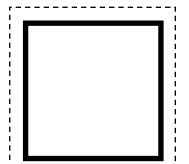
行政

- 学校生活全般において食育を推進する
- 運動を通じた体力向上を推進する

各主体をつなぐ取組や
公民連携の取組例

- 子ども食堂の運営や支援を行う

関連する
主な個別計画



個別目標 子どもの健康と安全が保たれている

個別目標の 方向性

③ 登下校をはじめ、子どもが安全に学校や地域で過ごせる 環境づくりを進める

現状と課題

全国での子どもが巻き込まれる事故や事件が発生している中、小学校や幼稚園、保育所などの施設や通学路、さらには地域社会における安全確保のため、学校・家庭・地域の関係機関や団体が密接に連携して、登下校時や地域内における見守りや子どもの安全な遊び場の確保の取組を強化する必要があります。

みんなでめざそう値

指標A 新規のこども110番協力件数(家庭や事業所など)

○件 ▶ ○件

(2022年) (2026年)

指標B 登下校時の見守り協力者数

○人 ▶ ○人

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標



個別目標の 方向性

④ 障害のある子どもの発達支援とともに、 家庭生活での負担軽減を進める

現状と課題

発達障害等により発達に支援を要する子どもが増加する中、障害の早期発見と早期療育の充実など、保護者のニーズに合った入所児童の支援体制の強化を図るとともに、相談体制の強化が求められています。

みんなでめざそう値

指標A 総合通園センター受入待機児童数

○人 ▶ ○人

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標





すべての子どもたちが心身ともに健康で、安全な環境のもとで適正な教育を受けられていることをめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- 子どもの安全見守り隊に参加するなど、地域の子どもたちと顔を合わせた交流をする
- 散歩や買い物など日常生活の中で地域の子どもたちを見守る
- アルバイトやボランティアとして、保育所や学童を支援する
- 子ども食堂の運営など、活動団体への支援や寄附をする



事業者・団体・地域など

- 見守り隊に参加する
- 子どもを通じて多世代交流の機会をつくる
- 活動情報を広く発信する
- 子ども食堂を活用し、子どもを通じて多世代交代の機会をつくる



行政

- 通学路の巡回パトロールなど、学校や登下校時や地域での安全対策を実施する
- 地域で安心して遊べる環境を整える
- 交通事故を未然に防ぐための必要な施設を整備する(P.55再掲)
- 市民活動に参加しやすい環境づくりを進める(P.89再掲)

各主体をつなぐ取組や 公民連携の取組例

- 子ども食堂の運営や支援を行う
- 団体間の連携を強化する

関連する 主な個別計画



個人や家庭

- 不安なことは、専門機関などに相談する



事業者・団体・地域など

- 地域で地域の子どもたちを見守る



行政

- 総合通園センターなど、障害のある子どもと家庭の支援体制を強化する

各主体をつなぐ取組や 公民連携の取組例

- 障害のある子どもを持つ家庭と専門機関とをつなげる

関連する 主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

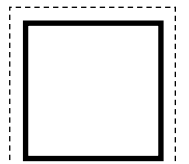
健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち



個別目標 子どもの健康と安全が保たれている

個別目標の 方向性

⑤ 育てにくさを感じる親への支援や、 児童虐待に関する相談の充実、早期発見・早期対応を進める

現状と課題

子どものいる家庭では、経済的不安、育児不安、育児に伴う負担などのストレスや核家族化、新型コロナウイルス感染症などの影響に伴う社会的孤立により、弱者である子どもへの虐待が発生するケースがあります。

本市における早期発見による通告件数は増加しており、関係機関と連携しながら継続的支援や見守りを必要とする案件の割合も増加しています。

子どもへの虐待を未然に防ぐための啓発活動とともに、様々な分野における既存の相談援助活動を有機的にネットワーク化し、継続的なソーシャルワークを行うことが求められています。

みんなでめざそう値

指標A

児童虐待や虐待の疑いを含む
相談の受付人数(児童1,000人当たり)

○人 ▶ ○人

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標





すべての子どもたちが心身ともに健康で、安全な環境のもとで適正な教育を受けられていることをめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- 思いやりや自主性・責任感を育む家庭をつくる
- 家庭内だけで問題を抱え込まず、専門機関などに相談する
- 地域の子どもに目を向け、あいさつを交わしながら見守り、注意を払う



事業者・団体・地域など

- 地域での交流の場をつくる



行政

- 児童虐待に関する相談や早期発見・早期対応等の体制を強化する

各主体をつなぐ取組や
公民連携の取組例

- 問題を抱える家庭と専門機関とをつなぐ

関連する
主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

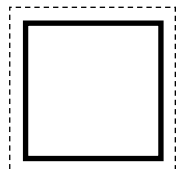
健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち



個別目標 子どもの個性や能力が豊かに育まれている

個別目標の 方向性

① 適正な就学・就園や経済的な支援により教育の機会を確保する

現状と課題

幼児・児童・生徒が、家庭の経済状況などに左右されず、だれもが安心して学べる環境が必要です。

近年、就学奨励の認定者の減少が見られますが、新型コロナウイルス感染症の影響なども踏まえ、引き続き、柔軟な支援、対応が求められています。

みんなでめざそう値

指標A 所在不明児童生徒の数

○人 ▶ ○人

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標



個別目標の 方向性

② 子ども一人ひとりが輝けるための適切な支援を行う

現状と課題

一人ひとりが自立し、社会の一員として主体的に行動し、活躍するためには、子どものそれぞれのもつ個性や能力を伸ばすとともに、それらを発揮できる環境づくりが必要です。つまり、「確かな学力」をはじめとした「生きる力」の育成であり、一人ひとりに目を向けた教育です。

本市における学力状況は依然として厳しく、これを克服することが喫緊の課題である一方、情報技術(ICT)を活用した教育の充実やそれぞれの子どもたちが輝く取組を、学校と家庭、地域が連携・協力して支援することも求められています。

みんなでめざそう値

指標A 全国学力学習状況調査における
正答率40%以下の児童生徒の割合

○% ▶ ○%

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標





すべての子どもたちが夢や目標をもち、地域の中で確かな学力や豊かな人間性、社会性を身につけ、生きる力を育んでいることをめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- 子どもの教育に関心をもつ



事業者・団体・地域など

- 就学の支援を行う



行政

- 安心して通学・通園できる環境を整える
- 経済的な支援を行う

各主体をつなぐ取組や
公民連携の取組例

- 経済的な不安のある家庭と福祉サービスとをつなげる

関連する
主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち

想定される公民の役割



個人や家庭

- 子どもは、勉強や好きなことに一生懸命に取り組む
- 保護者は、子どもの関心事を応援する
- 楽しみながら、自発的に勉強したくなる環境づくりや工夫を行う
- 知識が将来に役立っている事例を子どもと共有する



事業者・団体・地域など

- 事業者は、空き店舗等を活用し自習スペースなどを整備する
- 大学生が勉強法などを子どもに教える機会を提供する
- 地域の小学生と高校生が交流する機会を設ける
- 教育関係者が定年後も学習指導などを行える場をつくる
- 地域外の人材を受け入れ、地域外の団体との連携を強化する



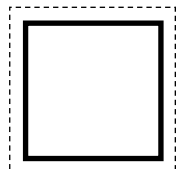
行政

- 子ども一人ひとりにきめ細やかな指導を行い、基礎学力の向上を図る
- 子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じて、適切な支援を行う
- 子どもたちの心の成長のために、様々な体験を行える機会や場をつくる(P.21再掲)
- 学校と地域が一体となって、地域の教育力の向上を図る(P.21再掲)

各主体をつなぐ取組や
公民連携の取組例

- 児童・生徒の抱える問題を、福祉的な観点から支援する

関連する
主な個別計画



個別目標 子どもの個性や能力が豊かに育まれている

個別目標の 方向性

③ 学校園の適正な施設整備や魅力ある運営を行う

現状と課題

少子化や施設の老朽化など、学校を取り巻く環境が変化している中、将来を見据えた計画的な学校教育施設の整備・充実を図ることは、次代を担う子どもたちの人間形成の礎をなす上で重要なテーマです。

また、施設環境の向上だけではなく、教員研修の充実などにより、「主体的・対話的で深い学び」の実践を図り、学校の魅力向上につなげる必要があります。

みんなでめざそう値

指標A 学校の施設不良に伴う事故件数

○件 ▶ ○件
(2022年) (2026年)

指標B 人口1人当たりの教育費

○円 ▶ ○円
(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標



個別目標の 方向性

④ 地域と連携し、子どもの社会的な心を育む

現状と課題

心身ともに健全に子どもが育つためには、よく遊び、よく学ぶことのできる、のびのびとした環境とともに、他者を理解する心の醸成が大切です。

近年は、都市化に伴う地域コミュニティの希薄化が進んでおり、子どもが異なる世代の人たちや社会との関わりをもつ機会が徐々に少なくなっていますが、子どもが社会性を身につけるためには、家庭や学校だけではなく、地域活動などを通じて学び、地域全体で子どもを守り育てる体制づくりが求められています。

みんなでめざそう値

指標A 「人の気持ちがわかる人間になりたい」と肯定的回答をした児童生徒の割合

○% ▶ ○%

指標B 「人が困っているときは、進んで助ける」と肯定的回答をした児童生徒の割合

○% ▶ ○%

※数値はいずれも 2022年▶2026年

特に関連する
SDGs
目標





すべての子どもたちが夢や目標をもち、地域の中で確かな学力や豊かな人間性、社会性を身につけ、生きる力を育んでいることをめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- 学校行事に積極的に参加する
- 学校施設を大切に使う
- 学校教育に関心をもち、教育について親子で考える



事業者・団体・地域など

- 学校と地域が一体となって、子どもたちのための学校づくりを進める



行政

- 児童・生徒が安全かつ快適に学べる学校環境を整える
- 教育行政を円滑かつ効果的に運営し、活力ある学校づくりを進める

各主体をつなぐ取組や
公民連携の取組例

- 学校と地域とのつながりの強化を図る

関連する
主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち

想定される公民の役割



個人や家庭

- 近所であいさつや声掛けをする
- 親子で地域活動に参加する
- 思いやりや自主性・責任感を育む家庭をつくる



事業者・団体・地域など

- 子ども食堂を活用して多世代交流の機会をつくる
- 他の地域の人との交流の機会を設ける
- 事業者は、職場体験学習の児童・生徒を積極的に受け入れる。
- 子どもや若者が参加しやすい地域での取組を企画する
- 学校と地域が一体となって、子どもたちを育む



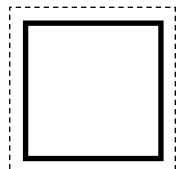
行政

- 子どもたちの心の成長のために、様々な体験を行える機会や場をつくる
- 学校と地域が一体となって、地域の教育力の向上を図る
- 児童・生徒の不安や悩みに対する相談や指導の体制を整える
- 市民活動に参加しやすい環境づくりを進める(P.89再掲)
- 困ったときに、地域の中でお互いに助けあえる関係づくりを支援する(P.45再掲)

各主体をつなぐ取組や
公民連携の取組例

- 子ども食堂の運営や支援を行う
- 子どもと地域が関わる機会を創出する

関連する
主な個別計画



個別目標 子どもの個性や能力が豊かに育まれている

個別目標の 方向性

⑤ 地域の産業を担う人材育成を進める

現状と課題

産業分野をはじめ、地域社会に貢献できる人材の育成をめざすため、市立産業高等学校においては、時代のニーズに応じた専門教育の充実や地域と連携した取組を進める必要があります。

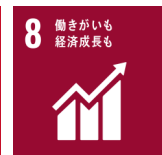
みんなでめざそう値

指標A 岸和田市での就職希望者のうち
市内事業者への就職率

〇% ▶ 〇%

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標





すべての子どもたちが夢や目標をもち、地域の中で確かな学力や豊かな人間性、社会性を身につけ、生きる力を育んでいることをめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- 岸和田の産業を盛り上げるため、積極的に知識や技術の習得に努める
- 地元の特色について学ぶ



事業者・団体・地域など

- 地場産業を紹介し、体験型イベントなどを開催する
- 市内の就職希望者を積極的に雇用する



行政

- 時代を先取りする高等教育の機会や場、教育内容の充実を図る

各主体をつなぐ取組や 公民連携の取組例

- 高校生と事業者がつながる機会を創出する

関連する 主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

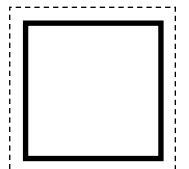
健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち



個別目標 生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている

個別目標の 方向性

① 様々な学びの活動や知識、経験の活用を進めるとともに、 コミュニティのつながりを創出する

現状と課題

人生100年時代の到来が予測される中、価値観の多様化が一段と進み、豊かで実り多い人生を過ごすため、人生のどの時期においても「自ら学ぶ喜び」を得ることができる生涯学習社会の実現が重要であり、学習の自由と多様性が、岸和田の人づくり・まちづくりにつながっていきます。

一方で、社会教育施設の老朽化の進行や利用者が減少している現状もあり、新たな学び・つながる場、自由な学びの場としていくため、時代にあった社会教育施設のあり方、活用方法についても考えていく必要があります。

みんなでめざそう値

指標A この1年間に自分の経験や特技を
何らかの形で地域に活かしたことが
ある市民の割合

〇% ▶ 〇%
(2022年) (2026年)

指標B 市立図書館への登録率

〇人 ▶ 〇人
(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標



個別目標の 方向性

② スポーツへの親しみや参画の向上を図るとともに、 スポーツができる環境づくりを進める

現状と課題

市民の運動・スポーツの年間実施率をみると、40代以下の比較的若い世代の実施率が低い傾向があります。

市民一人ひとりの多様なライフスタイルやライフステージに応じた運動・スポーツの機会や場の充実、きっかけづくりを通じて、「全世代の体力向上」を図っていく必要があります。

みんなでめざそう値

指標A スポーツ・運動を定期的(週1回以上)
にしている市民の割合

〇% ▶ 〇%
(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標





学習やスポーツ、芸術など多岐にわたる分野において、すべての人が自らの個性を活かし、世代間での交流が図られていることをめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- 学習会や研修会に積極的に参加する
- 趣味や特技を活かし、子どもたちと交流する



事業者・団体・地域など

- 施設開放や協賛により市民の生涯学習活動を支援する
- 団体同士で交流する機会をつくり、ネットワークを広げる
- 子ども食堂と連携した社会教育を推進する



行政

- 様々な学習を手軽に行える機会を提供する
- 多くの市民が学べる環境(場)を整える

各主体をつなぐ取組や
公民連携の取組例

- 子どもや若者が参加しやすい地域での取組を創出する

関連する
主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち

想定される公民の役割



個人や家庭

- スポーツ活動に積極的に参加する
- スポーツに親しむ機会や場を自らづくり、広げる



事業者・団体・地域など

- 学生がスポーツなどを教え、一緒に楽しめる機会を提供する
- スポーツの成果が発揮・発表でき、地域に貢献できる機会や場をつくる
- 岸和田にゆかりのあるスポーツ選手を多方面から支援する



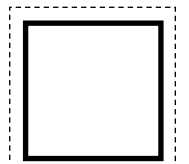
行政

- スポーツ活動に参加できる機会を提供する
- 安全にスポーツができる環境(場)を整える

各主体をつなぐ取組や
公民連携の取組例

- 市民が参加しやすい地域での取組を創出する

関連する
主な個別計画



個別目標 生涯にわたる能力づくりが進められ、活かされている

個別目標の 方向性

③ 芸術や文化への親しみや参画の機会を通して、 心の豊かさの醸成を図る

現状と課題

本市では、多様な文化団体や市民による自発的・自主的な文化活動が展開されていますが、その一方で、少子高齢化により、文化活動を担う人材の減少が危惧されています。各文化団体においても、日常の活動の軸となる人材の高齢化や、後継となる人材の育成や確保などの課題に直面しています。

このような中、誰もが心豊かに暮らせる文化のまちの実現を図っていくためには、多くの市民が芸術・文化に触れる機会や場、市民一人ひとりが自発的に文化活動を行えるよう支援することが求められています。

みんなでめざそう値

指標A

この1年間に芸術・文化活動(コンサートや演劇などの観賞を含む)を行ったことがある市民の割合

〇% ▶ 〇%

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標





学習やスポーツ、芸術など多岐にわたる分野において、すべての人が自らの個性を活かし、世代間での交流が図られていることをめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- 芸術や文化に積極的に触れる
- 芸術・文化活動の機会や場を自らつくり、広げる



事業者・団体・地域など

- 岸和田にゆかりのある芸術・文化活動者を支援する
- 芸術・文化の発表を通じて地域に貢献できる機会や場をつくる
- 学生などの若い世代が芸術や海外の文化などを教え、発信するなど、一緒に楽しめる機会を提供する
- だんじりの文化や芸術文化を紹介する機会をつくる



行政

- 芸術や文化に触れる機会を提供する
- 芸術や文化に触れる環境(場)を整える

各主体をつなぐ取組や
公民連携の取組例

- 市民が参加しやすい地域での取組を創出する

関連する
主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

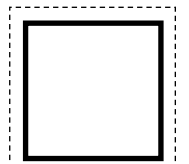
健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち



個別目標 誰もが社会参加し、活躍できる場がつくられている

個別目標の 方向性

① 働きたい人の就労機会の確保を進める

現状と課題

新型コロナウイルス感染症の影響などから、ハローワーク岸和田管内の有効求人倍率が低下しています。

働く意欲のある人に、働く機会や場の安定確保を図るためには、就労困難者に対する就労支援をはじめ、職を求める人と、企業の求める人材のミスマッチの解消などに取り組んでいくことが必要です。

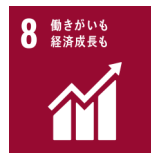
みんなでめざそう値

指標A 有効求人倍率



(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標



個別目標の 方向性

② 市内事業所の労働環境の向上を進める

現状と課題

本市には、景気の変動などによる影響を受けやすい中小企業が多くあります。

そのような中、労働条件や福利厚生面などにおいて、すべての人に働きがいがあり、新しい生活様式に対応した労働環境など、ワーク・ライフ・バランスが保たれた労働環境の実現が求められています。

みんなでめざそう値

指標A 労働環境に満足していると感じている市民の割合(市内従事者)



(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標



性別や年齢、障害の有無に関わらず、すべての人がいきいきと働き、活躍できる環境が整っていることをめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- 専門的な知識や技術の習得など、自ら就業のための努力をする



事業者・団体・地域など

- 事業者は、市内での雇用の場の創出に努め、地域に密着した事業活動を行う



行政

- 就職困難者の地域での雇用を創出するための支援を行う

各主体をつなぐ取組や
公民連携の取組例

- 就労支援のマッチングを行う

関連する
主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち

想定される公民の役割



個人や家庭

- 職場のルールを守る
- 働く仲間と協力しあう



事業者・団体・地域など

- 雇用者は、魅力ある職場づくりに努める
- 雇用者は、従業員に対する健康管理を充実させる



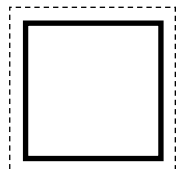
行政

- 市内事業所の勤労者の福祉対策を支援する
- 市内で働く労働者の権利が守られる環境づくりを支援する

各主体をつなぐ取組や
公民連携の取組例

- 市内事業所の労働環境などを把握する

関連する
主な個別計画



個別目標 誰もが社会参加し、活躍できる場がつくられている

個別目標の 方向性

③ 障害者の就労支援の充実と生きがいづくりを進める

現状と課題

障害者の外出の機会や、障害者が従事できる仕事を増やすなど、就労や余暇活動等を通して生きがいを感じながら生活するための支援が必要です。

みんなでめざそう値

指標A

長期的な病気や障害を抱えている人のうち、生きがいを感じることがある市民の割合

〇% ▶ 〇%

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標



個別目標の 方向性

④ 高齢者の雇用促進と生きがいづくりを進める

現状と課題

平均寿命の伸長に伴い、社会や地域に貢献したいと考えている元気な高齢者や、働けるうちは働きたいと就労を希望する高齢者が増えています。就労や様々な社会活動へ参加することは、高齢者にとって豊かな人生を過ごしていくための重要な要素であり、地域の担い手としても活躍していくことが期待されています。

老人クラブの会員数やシルバー人材センターへの登録者数は減少傾向にありますが、ニーズにあった業務の拡大など、引き続き、高齢者が長年培った経験や知識、能力などを、就労や地域活動などに活かせるような環境を整える必要があります。

みんなでめざそう値

指標A

生きがいを感じることがある65歳以上の市民の割合

〇% ▶ 〇%

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標



性別や年齢、障害の有無に関わらず、すべての人がいきいきと働き、活躍できる環境が整っていることをめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- 障害者自ら積極的に自己実現に向けて取り組む
- 障害に対する理解を深める
- 障害者支援事業所の取組を支援する



事業者・団体・地域など

- 事業者は、障害者雇用に対する理解を深め、積極的な雇用を行う
- 思いやりをもって、合理的配慮を行うとともに、障害者の社会参加を支援する



行政

- 障害者の雇用や社会参加の機会や場を充実させる

各主体をつなぐ取組や 公民連携の取組例

- 障害者と企業や団体などを結びつきを創出する

関連する 主な個別計画



個人や家庭

- 近所であいさつや声掛けをし、地域とのつながりをつくる
- 日頃から社会に参加し、健康でいきいきと生活できるように心掛ける
- ボランティア活動などに積極的に参加する



事業者・団体・地域など

- 高齢者が活躍できる仕事やリスキリングの機会をつくる
- 老人クラブやグランドゴルフチームなど、高齢者へ就労や地域活動への参加を推進する



行政

- 高齢者の就労や生きがいづくりを支援する
- 様々な学習を手軽に行える機会を提供する(P.25再掲)

各主体をつなぐ取組や 公民連携の取組例

- 高齢者の活動を指導する担い手を支援する
- 働きたい高齢者と仕事のマッチングを支援する

関連する 主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

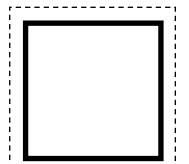
健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち



個別目標 郷土の歴史や文化が引き継がれている

個別目標の 方向性

① 郷土の歴史や文化に触れる機会をつくる

現状と課題

郷土の歴史や文化に触れることは、豊かな人間性や創造性の構築、郷土への愛着に大きく影響します。

本市においては、「岸和田のまちを誇りに思う市民」の割合が減少傾向にあり、今後、文化を通じて郷土の歴史に触れる機会を創出し、市民みんなの理解を深めることが求められています。

みんなでめざそう値

指標A

この1年間に郷土の歴史や文化財に触れる機会があった市民の割合

〇% ▶ 〇%

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標



個別目標の 方向性

② 岸和田の歴史や文化財の保存・活用を進める

現状と課題

人々と地域との関係性が希薄になりつつある中、あらためて私たちの郷土に残る文化財などを保存・活用し、郷土への愛着を醸成する必要があります。

また、本市には数多くの文化財が分布しており、市民みんなの郷土への理解を深めるためにも、歴史や文化のさらなる発信が求められています。

みんなでめざそう値

指標A

市内の指定文化財及び
市内の登録有形文化財の数

〇件 ▶ 〇件

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標



▶▶▶ みんなが郷土の歴史や文化に関心を持ち、次世代にしっかりと引き継がれていることをめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- 郷土の歴史や文化に関心をもつ
- 郷土の歴史的資源や地域の伝統文化に触れ、学ぶとともに、情報発信をする



事業者・団体・地域など

- 郷土の歴史や文化について伝え、広げる
- だんじりをはじめとした伝統文化を身近に感じられる機会をつくる



行政

- 郷土の歴史や文化に触れることのできる環境をつくる
- 地域資源やまちづくりの情報を収集し、発信を効果的に行う（P.81再掲）

各主体をつなぐ取組や
公民連携の取組例

- 岸和田の歴史や文化を活用し、地域のつながりを創出する

関連する
主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち

想定される公民の役割



個人や家庭

- 歴史的価値のあるものを大切に
する



事業者・団体・地域など

- 歴史的価値のあるものの保存を
支援する

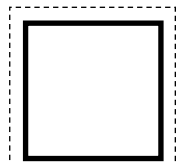


行政

- 岸和田の歴史や文化財を保存・
活用する

各主体をつなぐ取組や
公民連携の取組例

関連する
主な個別計画



基本目標 健康で自分らしく生きられるまち

【 個別目標 と 個別目標の方向性 】

健康意識の向上とともに、介護予防が進められ、心身の健康が維持・増進している

- ① 健康意識の向上や重症化予防など疾病予防を進める

医療サービスを受ける環境が整うとともに、緊急時にも医療が受けられる状態になっている

- ① 医療体制の充実により、必要なときに必要な医療が受けられる環境づくりを進める

平和で、多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、自分らしく生活できる環境が整っている

- ① 個々の人権や多様な価値観の尊重意識を広げるとともに、多文化に触れる機会を創出し、他者理解を促進する
- ② 男女共同参画の取組を進める
- ③ みんなが使いやすいデザインに配慮した施設環境をつくる
- ④ 平和への意識向上を進める

地域で支えあい、助けあえる関係が築けている

- ① 常日頃から、地域の中でお互いに助けあえる地域共生社会の関係づくりを進める

介護や医療保険、障害者支援の福祉サービスなど、誰もが必要な支援を受け安心できている

- ① その人らしい自立した生活につながる介護サービスを提供する
- ② 医療保険制度を適切に運営する
- ③ 高齢者が自分らしく生活できる環境づくりを進める
- ④ 障害者が自分らしく生活できる環境づくりを進める
- ⑤ 生活困窮者などに必要な支援を行う
- ⑥ 住宅困窮者に居住支援を行う

個別目標 健康意識の向上とともに、介護予防が進められ、 心身の健康が維持・増進している

個別目標の 方向性

① 健康意識の向上や重症化予防など疾病予防を進める

現状と課題

全国的な高齢化の進行に伴う、社会保障費の増大への対応や個人の生活の質の向上などの観点から、健康寿命延伸の重要性は高まっています。

しかし、本市の健康寿命は、全国平均・大阪府平均に対して短く、また国民健康保険の特定健診受診率も低い状況です。

生活習慣病や、ストレスの心身への影響などといった昨今の疾病構造の変化も踏まえ、市民の健康意識の向上とともに、疾病の早期発見や予防を進めることが求められています。

みんなでめざそう値

指標A 特定健康診査の受診率

〇% ▶ 〇%

(2020年) (2024年)

指標B がん検診の受診率

胃がん 〇% ▶ 〇%

肺がん 〇% ▶ 〇%

大腸がん 〇% ▶ 〇%

乳がん 〇% ▶ 〇%

子宮頸がん 〇% ▶ 〇%

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標





市民一人ひとりが健康に対する意識を高め、
心身ともに健康な状況が保たれていることをめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- ウォーキングなどの運動機会を確保し、健康管理・健康増進に努める
- 正しい食生活を心がける
- 地域の健康づくりの取組に積極的に参加する
- 健康づくりなどの情報を積極的に収集する
- かかりつけ医をもつ
- 健康診断や予防接種を受け、疾病の早期発見や予防に努める
- 家族や周りの人、専門機関に相談する



事業者・団体・地域など

- 健康増進イベント等を開催し、協力する
- 地域でラジオ体操やごみ拾いなどの取組を組み合わせ、異世代交流しつつ健康づくりができる機会をつくる
- 健康増進に関する定期的な取組の推進と周知活動を行う
- かかりつけの医療機関や薬局は、患者が普段から気軽に相談できる環境を整える



行政

- 情報の発信など、市民の健康意識を高め、自主的な健康づくりを支援する
- 薬物防止や自殺予防など心の健康管理を支援する
- 介護予防の適切な推進を図る
- 疾病などの早期発見と予防を推進する
- 国民健康保険制度を適正かつ安定的に運営する(P.47再掲)

各主体をつなぐ取組や 公民連携の取組例

- 健康づくりを通して、地域でつながれる仕組みをつくる

関連する 主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

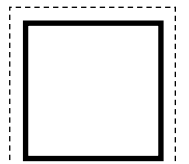
健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち



個別目標 医療サービスを受ける環境が整うとともに、 緊急時にも医療が受けられる状態になっている

個別目標の 方向性

① 医療体制の充実により、 必要なときに必要な医療が受けられる環境づくりを進める

現状と課題

市民の健康を維持・増進させるためには、健康増進、疾病予防、治療・入院といった一般的な保健医療サービスに加え、救急医療も含めた医療サービスが必要なときに必要な人へ提供できる状態を保つことが重要です。

本市においては、市立岸和田市民病院をはじめ、多くの病院や一般診療所、歯科診療所があり、引き続き、それぞれの機能に応じた役割を果たしつつ、医療機関同士で連携していくことが必要です。

高齢化の進行に伴い、今後ますます介護・医療サービスの需要が高まる中、関係機関との連携強化、医療機器の高度化や高度専門医療施設の整備・拡充、かかりつけ医制度の推進等、市民がより安心して医療サービスを受けられるよう、地域医療体制を確立することが求められます。

また、救命率を高めるためにも、市民による救急車の適正な利用や、市民の応急処置の知識や技術の習得の推進が必要です。

みんなでめざそう値

指標A かかりつけ医を持っている市民の割合

〇% ▶ 〇%

(2022年) (2026年)

指標B 軽症者(入院を必要としない)の
救急車による搬送割合

〇% ▶ 〇%

(2022年) (2026年)

指標C 市民病院の病床利用率

〇% ▶ 〇%

(2022年) (2026年)

指標D 市民病院における経常収支比率

〇% ▶ 〇%

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標





地域医療体制が整い、夜間や休日でも安心して医療が受けられる体制の整備をめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- かかりつけ医を持ち、まずはかかりつけ医に相談する
- 応急処置などを学び、救急時の対応に努める
- 救急車を適正に利用する



事業者・団体・地域など

- 地域の医療機関は、市民病院など高度医療機関と連携する
- 薬局と医療機関は、連携を強化する
- かかりつけの医療機関や薬局は、患者が普段から気軽に相談できる環境を整える(P.37再掲)



行政

- 二次医療機関(地域の基幹病院)としての市民病院の診療体制を整える
- 常に、必要な医療サービスを必要とときに提供できる地域医療の体制を整える
- いざというときに応急処置や救急医療を受けられる体制を整える
- 社会生活を支える障害福祉サービスなどを提供する(P.49再掲)

各主体をつなぐ取組や 公民連携の取組例

- 健康に不安を抱える人に対して、医療に関する専門機関や専門職を紹介する

関連する 主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

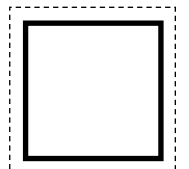
健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち



個別目標 平和で、多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、 自分らしく生活できる環境が整っている

個別目標の 方向性

① 個々の人権や多様な価値観の尊重意識を広げるとともに、 多文化に触れる機会を創出し、他者理解を促進する

現状と課題

年齢や性別、国籍、障害の有無などに関わらず、すべての人々がお互いを認め合うことが大切です。

一人ひとりがかけがえのない存在として尊重される差別のない多様性を尊重した社会の実現が求められています。

みんなでめざそう値

指標A

人権研修(市民の集い、人権問題専門講座等)への参加者のうち、参加前後で意識が変わった人の割合

〇% ▶ 〇%

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標



個別目標の 方向性

② 男女共同参画の取組を進める

現状と課題

職場や家庭等においては、性別による固定的な役割分担意識やそれに基づく社会の制度や慣習は依然として残っています。

このような状況を改善するため、固定化した男女の役割にとらわれず自らの意思によって、個性と能力が発揮できる男女共同参画社会の早期実現が求められています。

みんなでめざそう値

指標A

審議会等の女性委員の割合

〇% ▶ 〇%

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標





年齢や性別、国籍、障害の有無などによる差別がなく、お互いを大切にしたい、誰もがその人らしく暮らせるまちをめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- 地域の人にあいさつや声掛けを行い、関係性を築く
- 様々なマイノリティへの理解を深める
- 他国の文化や価値観などを知り、理解を深める
- 国際交流のイベントなどに参加する
- 新しい人権問題などに関心を持つ



事業者・団体・地域など

- 多様性を理解・尊重した事業所・団体運営を行う
- 事業者は、国際性を踏まえた製品やサービスを提供する
- 子ども食堂やフリースクールなど、みんなが集える場を提供・支援する



行政

- 多様な価値観の醸成のための機会を創出するとともに、人権問題の解決を図るための相談体制を整える
- 新たな人権問題の解決を図るための検討を進め、共生のまちづくりを推進する
- 多文化に触れる機会や場を創出するなど、他者理解を促進する

各主体をつなぐ取組や 公民連携の取組例

- 国際交流などを通じたつながりを創出し、相互理解を促進する
- 様々なマイノリティや新しい人権問題などの理解促進のための研修会や啓発活動、相談業務などを実施する

関連する 主な個別計画



個人や家庭

- 性別にかかわらず、子ども自身の個性や自主性を尊重した子育てをする
- 性別による固定的な役割分担意識にとらわれず、家事や育児、介護をお互いに協力して行う
- DVについての理解が進み、お互いを尊重し、相手を思いやる



事業者・団体・地域など

- 採用、配置、昇進等の場面で、男女格差を解消し、個性や能力が十分に発揮できる環境を整える
- ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)がとれた働き方をする
- 意思決定の場へ男女がともに参画し、活力あるまちづくりを行う
- DV被害者を支援する



行政

- あらゆる分野において男女がともに参画できるしくみを整えるとともに、女性の参画を促進する意識啓発を行う
- DVの防止とDV被害者の支援を行う

各主体をつなぐ取組や 公民連携の取組例

- DVなどで困っている人に対して、専門機関等を紹介する

関連する 主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

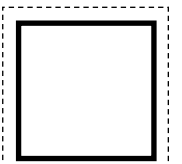
健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち



個別目標 平和で、多様な価値観が尊重され、他者への理解が促進し、 自分らしく生活できる環境が整っている

個別目標の 方向性

③ みんなが使いやすいデザインに配慮した施設環境をつくる

現状と課題

近年、まちをユニバーサルデザイン化する考え方が浸透してきており、ノーマライゼーションの理念に基づいた、市民誰もが地域の中で当たり前で暮らすことができる社会が求められています。

また、心理的・精神的な障壁を取り除くことに加え、道路や建物などにおいては物理的な障壁も取り除くなど、ユニバーサルデザイン化された社会の構築が必要です。

みんなでめざそう値

指標A 駅と主要施設を結ぶ道路等の
バリアフリー化率

〇% ▶ 〇%

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標



個別目標の 方向性

④ 平和への意識向上を進める

現状と課題

二度にわたる世界大戦を経て、人類は平和の尊さを学びましたが、戦後、我が国においては暮らしが豊かになるとともに、平和であることが当たり前の生活を送っています。

しかし、世界では、国際テロや紛争などの脅威にさらされ、安寧とした日常を送ることのできない人々も多くいます。

平和の根底にあるのは、他者理解であることとその重要性を市民一人ひとりが再確認するとともに、相互に思いやりを持って平和に暮らせる社会の構築・維持が必要です。

みんなでめざそう値

指標A 平和は大切だと感じている
市民の割合

〇% ▶ 〇%

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標





年齢や性別、国籍、障害の有無などによる差別がなく、お互いを大切にしたい、誰もがその人らしく暮らせるまちをめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- 点字ブロックなどを利用する人に配慮した行動をとる
- 住宅などを新築・改築する際には、ユニバーサルデザインに配慮する



事業者・団体・地域など

- 事業者は、店舗などを新築・改築する際には、ユニバーサルデザインに配慮する



行政

- 公共施設のユニバーサルデザイン化を推進する
- 住宅等のユニバーサルデザイン化を支援する

各主体をつなぐ取組や 公民連携の取組例

- ユニバーサルデザインに関心がある人や団体と、ユニバーサルデザインやバリアフリーなどに関する専門知識のある人や団体とをつなぐ

関連する 主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち

想定される公民の役割



個人や家庭

- 思いやりを持って人と接する
- 戦争の悲惨さや核兵器の恐ろしさなどについて知識を持つ
- 平和学習会などに参加する
- 平和の尊さを子どもたちに伝える



事業者・団体・地域など

- 子どもたちに平和に関する学びの場を提供する



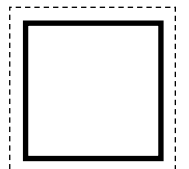
行政

- 平和の尊さを学べる機会や場をつくる
- 戦争被害者などの福祉の推進を図る

各主体をつなぐ取組や 公民連携の取組例

- 平和に関する講演や他者理解の推進に関する取組を周知する

関連する 主な個別計画



個別目標 地域で支えあい、助けあえる関係が築けている

個別目標の 方向性

① 常日頃から、地域の中でお互いに助けあえる 地域共生社会の関係づくりを進める

現状と課題

近い将来訪れる超高齢社会や貧困問題等を背景に、生活上の支援を必要とする人々が増加し、その支援ニーズは多様化・複雑化しています。

一方、本市においても核家族化や都市化の進行により、市民相互のつながり・地域のつながりは希薄化しつつあります。

地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するためには属性を問わない重層的な支援が必要であり、市民・事業者・行政がともに手を取りあい、地域の中でお互いにつながり、助けあえる地域共生社会の実現が求められています。

みんなでめざそう値

指標A 困ったときに近くに相談できる人や場所がある市民の割合

〇% ▶ 〇%

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標





日ごろから地域のつながりがあり、お互いに助けあえる関係になっていることをめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- 悩みごとや困りごとがあれば、身近な人や民生委員、専門機関へ相談する
- 近隣との交流を深め、つながりをつくる
- 地域の福祉活動に積極的に参加し、地域の取組に触れる
- ヤングケアラーへの理解を深める



事業者・団体・地域など

- 各団体の取組を整理する
- 事業所や団体においては、各種専門職を採用し、支援の幅を広げる
- 地域で気軽に集える場をつくる
- 民生委員がつながれる場をつくる



行政

- 困ったときに、地域の中でお互いに助けあえる関係づくりを支援する
- 属性に関わらない重層的な支援体制を構築する
- 在宅での生活を支援する取組を推進する
- 葬儀や埋葬が支障なく行われるようにする
- 子育て家庭が安心して相談できる場や機会を提供する(P.9再掲)
- 学校と地域が一体となって、地域の教育力の向上を図る(P.21再掲)
- 児童虐待に関する相談や早期発見・早期対応等の体制を強化する(P.17再掲)
- 家族介護者を支援する(P.47再掲)

各主体をつなぐ取組や 公民連携の取組例

- 子育て世代同士の交流や多世代交流ができる場や機会をつくる
- 子育て情報や生活情報の発信を推進する
- ヤングケアラーの実態を把握し、支援を推進する

関連する 主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

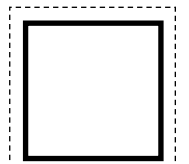
健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち



個別目標 介護や医療保険、障害者支援の福祉サービスなど、 誰もが必要な支援を受け安心できている

個別目標の 方向性

① その人らしい自立した生活につながる介護サービスを提供する

現状と課題

超高齢社会の到来や長寿化の進展により、介護を必要とする人やその介護ニーズはますます増大しています。

一方、少子化等による介護者の減少や社会保障費の負担増加、家族介護者が抱える問題の多様化など、社会的な問題が顕在化しています。

そのような中、介護の必要な人がその人らしい自立した生活を送るためのより一層の支援が必要とされています。

みんなでめざそう値

指標A 居宅介護サービス及び
介護予防サービスの利用率

〇% ▶ 〇%

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標



個別目標の 方向性

② 医療保険制度を適切に運営する

現状と課題

国民健康保険や後期高齢医療保険は、国民皆保険制度の基礎として重要な役割を果たしています。

しかし、高齢層の被保険者の増加や医療の高度化等に伴う医療費の増大などにより、厳しい運営状況になることが想定されます。

今後も安定的な制度運営を確保するため、適切な保険料収納対策や医療費の適正化などが求められています。

みんなでめざそう値

指標A 国民健康保険料の収納率

〇% ▶ 〇%

(2022年) (2026年)

指標B 後期高齢者医療保険料の収納率

〇% ▶ 〇%

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標



介護保険制度や医療保険制度が適正かつ安定的に運営されるとともに、支援が必要な高齢者や障害者、生活困窮者などが、地域社会のサポートを得て安心して日常生活を送れる環境をめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- 困りごとがあれば、地域の人や専門職に相談する
- 自分に適した介護サービスの提供を受ける
- 介護技術や介護方法を学ぶ
- 介護保険料を納付する



事業者・団体・地域など

- 事業者は、利用者に合ったサービスを提供する
- 事業者は、サービスの提供を通して、利用者の生きがいづくりに貢献する



行政

- 高齢者の自立と重症化予防につながる介護サービスの提供を支援し、介護保険制度を適正かつ安定的に運営する
- 家族介護者を支援する

各主体をつなぐ取組や 公民連携の取組例

- 家族介護者などの支援を進める
- 高齢者やその家族、地域住民からの相談を幅広く受け付け、各種サービスにつなげる

関連する 主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち

想定される公民の役割



個人や家庭

- 医療保険を適正に利用する
- ジェネリック医薬品(後発医薬品)の利用やセルフメディケーションに取り組む
- 国民健康保険料や後期高齢者医療保険料を納付する



事業者・団体・地域など

- 医療機関や薬局などは、適正な医療保険制度の運営に協力する
- かかりつけの医療機関や薬局は、患者が普段から気軽に相談できる環境を整える(P.37再掲)

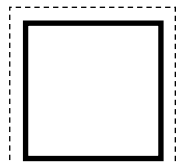


行政

- 国民健康保険制度を適正かつ安定的に運営する
- 高齢者の医療制度を適正かつ安定的に運営する

各主体をつなぐ取組や 公民連携の取組例

関連する 主な個別計画



個別目標 介護や医療保険、障害者支援の福祉サービスなど、 誰もが必要な支援を受け安心できている

個別目標の 方向性

③ 高齢者が自分らしく生活できる環境づくりを進める

現状と課題

超高齢社会の中、高齢者の介護を高齢者が行うという老々介護や、障害者の介護を高齢者が行う老障介護などへの支援のあり方が問われています。

また、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、自分らしく、その有する能力に応じて自立した生活を送ることができるよう支援することが必要です。

そのため、医療、介護、介護予防、住まい及び自立した日常生活の支援を包括的に確保する地域包括ケアシステムを、より一層深化・推進することが求められています。

みんなでめざそう値

指標A 認知症サポーター養成人数(累計)

○人 ▶ ○人

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標



個別目標の 方向性

④ 障害者が自分らしく生活できる環境づくりを進める

現状と課題

障害者が、自分らしく、地域社会で自立した日常生活を営むことができるよう、必要な障害福祉サービスの提供や地域社会でのサポートの充実が求められています。

みんなでめざそう値

指標A 訪問系福祉サービスの利用量
(月平均利用時間)

○時間／月 ▶ ○時間／月

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標



介護保険制度や医療保険制度が適正かつ安定的に運営されるとともに、支援が必要な高齢者や障害者、生活困窮者などが、地域社会のサポートを得て安心して日常生活を送れる環境をめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- 普段からあいさつするなど、地域との交流を深める
- リビング活動等、地域の取組に参加する
- 地域の見守り活動に参加する
- 認知症や高齢者がかかりやすい病気、高齢者の身体能力の変化などについての知識や理解を深める
- 国民年金を納付する



事業者・団体・地域など

- 事業者は、地域と連携し、買い物支援を実施する
- 事業者は、専門機関や行政と連携して、高齢者をサポートする
- 高齢者福祉に関する団体や事業者同士の連携を進める
- 地域でのつながりを創出・維持する
- 地域における情報収集や実態把握に努める



行政

- 地域での生活を支援する
- 在宅生活が困難な高齢者を支援する
- 高齢者が経済的に自立できる環境を整える
- 高齢者の自立と重症化予防につながる介護サービスの提供を支援し、介護保険制度を適正かつ安定的に運営する(P.47再掲)

各主体をつなぐ取組や 公民連携の取組例

- 専門職間での連携や情報共有を強化する
- 高齢者の困りごとなどに対して、地域と連携し、サポートを行う
- 高齢者をサポートする団体等と地域の高齢者をつなげる

関連する 主な個別計画



個人や家庭

- 困りごとや悩みごとがあれば、地域の人や専門機関に相談する
- 普段からあいさつするなど、地域との交流を深め、相談しやすい環境をつくる
- 地域でどんな人が困りごとを抱えているのかなど、情報収集する



事業者・団体・地域など

- 子ども会は、障害の有無に関わらず、子ども同士が交流できる場をつくる
- 地域で介護者を支援する
- 地域で障害者が自立した生活を送れるようにサポートする
- 団体は、各種専門職を採用し、支援の幅を広げる



行政

- 社会生活を支える障害福祉サービスなどを提供する
- 重い障害によって生じる経済的な負担を軽減する
- 医療的ケア児への支援を強化する
- 情報弱者への健康情報などの発信を工夫する
- 社会生活を支える障害福祉サービスなどを提供する(P.49再掲)
- 多様な価値観の醸成のための機会を創出するとともに、これまでの人権問題の解決を図るための相談体制を整える(P.41再掲)

各主体をつなぐ取組や 公民連携の取組例

- 生涯学習として、障害者学級の運営・支援を行う
- 地域での集まれる場に参加しやすい環境づくり
- 利用者とサービスをつなげる取組を進める

関連する 主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

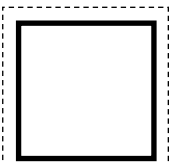
健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち



個別目標 介護や医療保険、障害者支援の福祉サービスなど、誰もが必要な支援を受け安心できている

個別目標の 方向性

⑤ 生活困窮者などに必要な支援を行う

現状と課題

高齢化や所得格差の拡大等により、本市においても生活に困窮する人は増加しており、生活保護にかかる費用なども増加しています。

今後もより一層、生活困窮者に対する生活相談や就労支援などを通じた、自立した生活のための支援が求められています。

みんなでめざそう値

指標A

生活困窮相談支援プラン作成件数
(評価実施件数)のうち、支援により
生活困窮から変化が見られた割合

〇% ▶ 〇%

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標



個別目標の 方向性

⑥ 住宅困窮者に居住支援を行う

現状と課題

性別、国籍、年齢、障害の有無などに関わらず、誰もが住みやすい住環境の整備が必要です。

また、住宅困窮者に対しては、適切な住宅供給の支援を行うことが求められています。

みんなでめざそう値

指標A

岸和田市居住支援協議会による
居住支援件数

〇件 ▶ 〇件

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標



介護保険制度や医療保険制度が適正かつ安定的に運営されるとともに、支援が必要な高齢者や障害者、生活困窮者などが、地域社会のサポートを得て安心して日常生活を送れる環境をめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- 困りごとや悩みごとがあれば、地域の人や専門機関に相談する
- 経済的に自立できるように努める
- 生活保護制度や困窮者支援制度を適正に利用する
- 社会的に弱い立場となっている人を支援できるように、地域での関係づくりに努める



事業者・団体・地域など

- 地域で支えあいの活動を推進する
- 困りごとなどを相談しやすい地域での関係づくりに努める



行政

- 生活に困窮する市民が安定した生活を送れるよう経済的支援や自立支援をする

各主体をつなぐ取組や 公民連携の取組例

- 支援を必要としている人に、適切にサービスが提供されるようにつなげる

関連する 主な個別計画



個人や家庭

- 住まいを大切にする
- 住宅に困窮したときは、行政などに相談する



事業者・団体・地域など

- 所有する建物の整備や維持管理を適正に行う
- 住宅供給のサポートを行う



行政

- 公営住宅等の供給を行う
- 地域での生活を支援する(P.49再掲)

各主体をつなぐ取組や 公民連携の取組例

- 地域の住宅状況の情報を共有する

関連する 主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

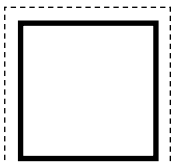
健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち



基本目標 安全で安心して暮らせるまち

【 個別目標 と 個別目標の方向性 】

事故や犯罪などに巻き込まれない生活が送れている

- ① 交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくりを進める
- ② 空き家対策や建築物の安全性の確保を行うとともに、良好な住環境の創出を進める
- ③ 防犯意識の向上とともに、犯罪防止につながる環境づくりを進める
- ④ 安心してサービスや物の購入などの消費行動が行える環境づくりを進める

災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている

- ① 災害被害を最小限にする強靱な基盤の整備を計画的に進める
- ② 発災時にみんなが迅速に柔軟に対応できる環境づくりを進める
- ③ 火災予防や火災被害を最小限にする取組を進める

個別目標 事故や犯罪などに巻き込まれない生活が送れている

個別目標の 方向性

① 交通マナーの向上や交通事故を防ぐ環境づくりを進める

現状と課題

最新技術を活用した自動車の安全性能の向上などにより、交通事故件数は全国的に減少傾向にあります。

本市においても、引き続き、交通マナーの向上や交通事故を未然に防ぐ環境づくりが求められています。

みんなでめざそう値

指標A 交通事故(人身事故+物損事故)の年間発生件数

○件 ▶ ○件

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標



個別目標の 方向性

② 空き家対策や建築物の安全性の確保を行うとともに、 良好な住環境の創出を進める

現状と課題

近年、人口減少や住宅・建築物の老朽化等に伴って空き家が増加しており、住民の生活環境に影響を及ぼすことが懸念されています。

本市においても、引き続き、空き家の予防や発生抑制、適正管理が行われるよう取り組むとともに、空き家の利活用を推進することが求められています。

また、完了検査の受検を促したり、違反建築物の是正を指導したりすることなどにより、建築物の安全性を確保することが求められています。

みんなでめざそう値

指標A 空家等に対する指導等により改善した件数

○件 ▶ ○件

(2022年) (2026年)

指標B 建築確認申請の完了検査受検率

○% ▶ ○%

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標





事故や犯罪、消費者トラブルなどに巻き込まれることなく、誰もが安心して日常生活が送れることをめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- 交通ルールやマナーを守る
- 路上で遊んだり、自転車などを放置しない
- 交通安全活動に積極的に参加する
- 高齢者の免許返納を支援する



事業者・団体・地域など

- 交通安全活動を実施する
- 事業者は、高齢者の免許返納を応援するサービス・特典を提供する



行政

- 交通ルールやマナー、交通安全意識の高揚と対策を図る
- 交通事故を未然に防ぐための必要な施設を整備する
- 地域での生活を支援する(P.49再掲)

各主体をつなぐ取組や 公民連携の取組例

- 交通安全協会などと連携し、交通に関する情報収集とSNSを活用した情報発信を行う
- 買い物難民とサービス事業者、行政の仲介をする

関連する 主な個別計画



個人や家庭

- 空き家を放置する危険性を理解する
- 所有する空き家などを確認し、適切に管理・利活用する
- 所有する建物の管理を適切に行う



事業者・団体・地域など

- 事業者は、空き家を活用し、店舗や事務所などの設置、サービス提供を行う
- 事業者は、建築や開発行為の際、法令を遵守し、地域の環境を考慮する



行政

- 危険な空き家の情報を把握するとともに、空き家の管理・利活用を支援する
- 建築物の安全性を確保する
- 良好な住環境の創出を促進する

各主体をつなぐ取組や 公民連携の取組例

- 空家利活用に向けたマッチングを推進する

関連する 主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

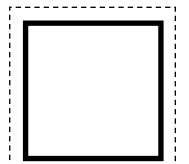
健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち



個別目標 事故や犯罪などに巻き込まれない生活が送れている

個別目標の 方向性

③ 防犯意識の向上とともに、 犯罪防止につながる環境づくりを進める

現状と課題

近年の全国における刑法犯認知件数は、戦後最少のペースで推移しています。一方で、刑法犯認知件数のうち、窃盗がその7割以上を占めるなど、住民に身近なところで犯罪が発生しています。

本市においても、引き続き、家庭・地域・行政などの関係機関が一体となった防犯体制の確立を図り、地域社会の犯罪抑止機能を高めていくことが求められています。

みんなでめざそう値

指標A 市内における刑法犯罪の認知件数

全体 ○件 ▶ ○件

窃盗 ○件 ▶ ○件

詐欺 ○件 ▶ ○件

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標



個別目標の 方向性

④ 安心してサービスや物の購入などの消費行動が行える 環境づくりを進める

現状と課題

近年、消費者を取り巻く社会情勢は、超高齢社会の到来、高度情報化社会、国際化の進展等によって大きく変化しており、それらに伴ってトラブル発生について内容の複雑化、低年齢化が見られます。

本市においても、引き続き、市民が安全安心で豊かな消費生活を送ることができるよう、被害防止の取組などを進めることが求められています。

みんなでめざそう値

指標A 消費者トラブル相談解決割合

○% ▶ ○%

(2022年) (2026年)

指標B この1年間に何らかの消費者トラブル にあった市民の割合

○% ▶ ○%

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標





事故や犯罪、消費者トラブルなどに巻き込まれることなく、誰もが安心して日常生活が送れることをめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- 防犯知識の習得や防犯グッズの活用などを行い、窃盗や特殊詐欺など身近な犯罪に対する防犯意識を高める
- 地域の防犯活動に参加する



事業者・団体・地域など

- 地域で防犯意識の向上や、防犯活動を実施する



行政

- 市民一人ひとりの防犯意識を高め、犯罪の防止に取り組む
- 地域の自主活動を支援する

各主体をつなぐ取組や
公民連携の取組例

- 市民・行政などが連携し、防犯意識を啓発するための情報発信を行う

関連する
主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち

想定される公民の役割



個人や家庭

- 消費生活に必要な正しい知識を習得する
- 消費者トラブルに注意し、適切な買い物をする



事業者・団体・地域など

- 事業者は、正確で消費者が分かりやすい情報を提供する
- 事業者は、消費者に丁寧な説明を心がける

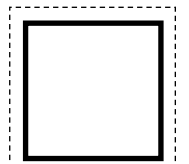


行政

- 安全な消費生活を送れるよう、相談体制や情報提供を充実する

各主体をつなぐ取組や
公民連携の取組例

関連する
主な個別計画



個別目標 災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている

個別目標の 方向性

① 災害被害を最小限にする強靱な基盤の整備を計画的に進める

現状と課題

近い将来発生するといわれている南海トラフ巨大地震など、大規模な自然災害等が発生しても地域経済社会への被害を最小限にとどめ、迅速に回復する「強さ」と「しなやかさ」を備えた強靱な地域をつくり上げることが求められています。

みんなでめざそう値

指標A 市有建築物の耐震化率

〇% ▶ 〇%

(2022年) (2026年)

指標B 無料耐震診断及び既存建築物耐震診断補助制度による耐震診断実施戸数(累計)

〇戸 ▶ 〇戸

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標



個別目標の 方向性

② 発災時にみんなが迅速に柔軟に対応できる環境づくりを進める

現状と課題

我が国の国土は、台風や大雨、それらに伴う洪水や土砂災害、地震などの自然災害を受けやすい環境にあります。さらに、地球温暖化などの気候変動が進展していることもあり、自然災害は激甚化・頻発化しています。

本市においては、引き続き、市民や地域、行政などそれぞれが、被害を最小限にする体制づくりや対応力を高める取組に努め、協力し合って自然災害の発生に備えることが求められています。

みんなでめざそう値

指標A 災害の際の非常持ち出し品や食糧などを準備している市民の割合

〇% ▶ 〇%

(2022年) (2026年)

指標B 防災福祉コミュニティの数

〇 ▶ 〇

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標



地震や台風などの災害が発生しても、被害を最小限にする体制や対応力が整っていることをめざします
また、火災予防を進め、万が一発生しても被害を最小限にする体制が整っていることをめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- 耐震性に不安がある建物の耐震診断を実施し、必要に応じて耐震改修や建替えをするなど、防災対策を行う



事業者・団体・地域など

- 耐震性に不安がある建物の耐震診断を実施し、必要に応じて耐震改修や建替えをするなど、防災対策を行う



行政

- 自然災害などに備え、災害に強い社会基盤の整備を進める
- 地震による建物の被害を最小限に抑えるための整備を進める
- 浸水被害を最小限にするための整備を進める

各主体をつなぐ取組や
公民連携の取組例

関連する
主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち

想定される公民の役割



個人や家庭

- 防災訓練に参加するなど、積極的に防災知識を深め、災害に備える
- 地域や家庭で災害時の行動について相談する
- 非常持出し品や食糧などの備蓄を行う
- 普段から地域でコミュニケーションをとり、知識や経験、取組を共有する
- 有事の際には、避難指示に従い、迅速に行動する
- 有事の際には、相互に救援・救護活動を行う



事業者・団体・地域など

- 事業者は、BCP(事業継続計画)を作成する
- 事業者は、災害発生時の避難場所を提供する
- 事業者は、災害時に各企業の技術や専門性を活かせるよう企業間の連携を強化する
- 地域の自主防災体制を整え、防災訓練を積極的に実施する
- 地域で日頃から危険か所を把握する
- 地域で避難の際に支援が必要な高齢者や障害者などを把握する



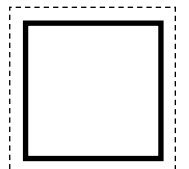
行政

- 市民や地域の災害対応力を高める
- 災害対応に必要な施設や物資を適切に配置する
- 災害発生時に迅速に対応できる環境を整える
- 災害被害者の福祉の増進を図る

各主体をつなぐ取組や
公民連携の取組例

- 多くの事業者や団体に向けて災害時における連携の強化を促す
- 行政や市民、事業者に対する情報のハブ機能を担う

関連する
主な個別計画



個別目標 災害などの非常時への準備が進められ、強靱な環境になっている

個別目標の 方向性

③ 火災予防や火災被害を最小限にする取組を進める

現状と課題

火災は、住宅などの財産だけでなく、命までも奪う危険性があります。

本市においては、引き続き、消防機能の充実を図るとともに、市民意識の啓発など火災予防の取組を進めることが求められています。

みんなでめざそう値

指標A 人口1万人当たりの火災発生件数

○件 ▶ ○件

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標



地震や台風などの災害が発生しても、被害を最小限にする体制や対応力が整っていることをめざします
また、火災予防を進め、万が一発生しても被害を最小限にする体制が整っていることをめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- 日常での火災原因となる行動に留意し、火災予防に努める
- 火災発生時には、迅速かつ的確に通報するとともに、初期消火活動や救命救急活動を行い、地域で助けあう
- 住宅の不燃化や住宅用火災警報器の設置・維持管理を行い、住宅火災による被害の軽減を図る



事業者・団体・地域など

- 防火設備の設置や定期的な消防点検を行う
- 有事の際の避難経路を複数確保する
- 地域で放火を防ぐ環境をつくる



行政

- 防火意識の醸成及び、住宅、事業所、危険物施設の火災発生防止に努める
- 消防行政を円滑に推進するとともに、職員の人材育成により消防活動能力の向上を図る

各主体をつなぐ取組や
公民連携の取組例

関連する
主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

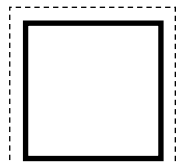
健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち



基本目標 人と自然が共生した住みよいまち

【 個別目標 と 個別目標の方向性 】

良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている

- ① 環境汚染による健康被害の発生を防ぐ
- ② 安全安心な水を安定的に供給する
- ③ まちの美化を進める

人が緑と触れあっている

- ① まちの緑の適正な保全とまちの緑化を進める
- ② 貴重な自然環境と生物多様性の保全・活用を進める

環境の負荷を減らした循環共生型の地域社会がつくられている

- ① ごみの減量と資源の有効活用など4Rを進める
- ② 省エネルギー化や再生可能エネルギーによる脱炭素を推進し、地球温暖化防止を進める

個別目標 良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている

個別目標の 方向性

① 環境汚染による健康被害の発生を防ぐ

現状と課題

工場等への規制強化や下水道の整備が進み、良好な生活環境を形成しています。暮らしの利便性や住環境の質の向上に伴い、新たな物質等による大気汚染や水質汚濁が懸念されるため、環境を汚染するおそれのある物質の監視が求められています。

みんなでめざそう値

指標A

大気汚染に関する有害大気汚染物質、水質汚濁等に関する有害物質及びダイオキシン類に係る環境基準達成割合

〇% ▶ 〇%

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標



個別目標の 方向性

② 安全安心な水を安定的に供給する

現状と課題

安全安心な水を安定的に供給するために、適正な浄水処理や水質管理の徹底および、老朽化した水道施設の適正な維持管理・更新を進めるとともに水道施設の耐震化が求められています。

みんなでめざそう値

指標A 有収率

〇% ▶ 〇%

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標





排出ガスによる大気汚染や、騒音・振動などへの対策が講じられるとともに、生活排水が適正に処理され、ポイ捨てごみや害虫被害などがなく、清潔で衛生的な良好なまちをめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- 普段から環境に配慮した生活を心掛ける
- 公共交通機関の利用や徒歩、自転車などでの移動に努める
- 日常生活の中で悪臭や騒音などで近隣環境を乱さないように配慮する



事業者・団体・地域など

- 事業者は、公共交通機関の利用やテレワークを推進する
- 事業者は、環境にやさしい製品を開発する



行政

- 環境汚染の状況を把握し、改善指導、啓発を行う
- 市内幹線道路の整備や市道の適正な管理を推進する(P.83再掲)
- 計画的で適正な土地利用や都市施設の配置を誘導する(P.85再掲)

各主体をつなぐ取組や
公民連携の取組例

- 環境保全活動団体等の活動を把握し、市民等とのマッチングを進める

関連する
主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち

想定される公民の役割



個人や家庭

- 浄水処理された良質な水道水を積極的に利用する
- 水の大切さを理解し、水の無駄遣いをなくす



事業者・団体・地域など

- 浄水処理された良質な水道水を積極的に利用する
- 水の大切さを理解し、水の無駄遣いをなくす

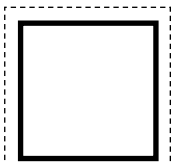


行政

- 安全安心で信頼される水を供給する

各主体をつなぐ取組や
公民連携の取組例

関連する
主な個別計画



個別目標 良好な生活環境とともに、まちが美しくなっている

個別目標の 方向性

③ まちの美化を進める

現状と課題

美化問題や公衆衛生に関して、モラルの低下による不法投棄やポイ捨て、動物の糞害、生活排水及び工場排水等による身近な水路や河川及び海面の汚濁が挙げられます。

このような中、市民一人ひとりがマナー向上の意識を持つとともに、各処理施設における適正な処理機能を維持することなどにより、後世を担う子どもたちをはじめ、いつまでも安心して暮らすことができる、衛生的で美しいまちを持続することが求められています。

みんなでめざそう値

指標A 生活排水適正処理割合

〇% ▶ 〇%

(2022年) (2026年)

指標B この1年間に ごみ拾いや美化活動を行ったことがある市民の割合

〇% ▶ 〇%

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標





排出ガスによる大気汚染や、騒音・振動などへの対策が講じられるとともに、生活排水が適正に処理され、ポイ捨てごみや害虫被害などが無い、清潔で衛生的な良好なまちをめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- 一人ひとりがマナーを守り、不法投棄やポイ捨てなどをしない
- 普段の生活の中で、ごみ拾いを習慣化するなど、美化意識を向上させる
- ペットは責任を持って飼育する
- 生活排水に配慮する
- 浄化槽の維持管理を徹底する
- 単独浄化槽から合併浄化槽への転換や下水道への接続を行う



事業者・団体・地域など

- 事業者は、ペーパーレスや脱プラスチックを推進する
- 地域や団体は、ごみ屋敷とその住人に対する支援をする
- 地域での清掃活動など、地域全体で環境美化に取り組む



行政

- 衛生的で清潔なまちをつくる
- 下水道整備を進めるとともに、合併浄化槽への転換や下水道接続に関する支援を行うなど水質汚濁を防止する

各主体をつなぐ取組や 公民連携の取組例

- 美化活動団体等の活動を把握し、市民等とのマッチングを進める

関連する 主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

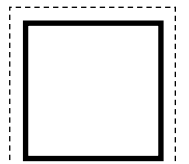
健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち



個別目標 人が緑と触れあっている

個別目標の 方向性

① まちの緑の適正な保全とまちの緑化を進める

現状と課題

公園や緑地、水辺などは、市民にとって憩いや娯楽の空間となるほか、良好な都市景観の形成、都市環境の改善、都市防災力の向上、地域コミュニティの交流機会の創出、生物の生息地となるなど、様々な機能を有しています。

一方、公園や緑地等では十分な維持管理が困難になってきており、また、住宅開発などにより市街地やその周辺では都市化が進み、公園や緑地等の必要性が高まっているため、適正な維持管理や利便性の向上、街中でのみどりの創出が求められています。

みんなでめざそう値

指標A 施設緑地面積

〇ha ▶ 〇ha

(2022年) (2026年)

指標B 市民1人当たりの都市公園面積

〇m² ▶ 〇m²

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標



個別目標の 方向性

② 貴重な自然環境と生物多様性の保全・活用を進める

現状と課題

本市には、ブナ林をはじめとした豊かな自然があり、里山保全活動も積極的に行われています。

一方で、地球規模での気候変動や人間活動の発展により、世界各地で自然環境の減少や生物多様性の喪失が進行しつつあり、本市でもそれらに適応したより一層の保全と活用が求められています。

みんなでめざそう値

指標A 自然資料館の内外で行われているイベント等への参加者数

〇人 ▶ 〇人

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標





自然を感じることができる貴重な市内のみどりが守られ、
緑地や公園、親水空間などが身近にあり、市民が快適に利用できる環境をめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- アドプト・ロード・プログラムなどの植栽活動に参加する
- 田畑やため池の適切な維持管理に努める
- 自宅や地域の緑化を推進する
- 公園などの公共空間をみんなが快適に利用できるよう努める



事業者・団体・地域など

- アドプト・ロード・プログラムなど植栽活動に参加する
- 事業者は、事業所の緑化を進める
- 地域が一体となって緑化活動を行う



行政

- 市民の緑化意識の向上と地域緑化の推進を図る
- 市民に親しまれる親水空間や公園づくりを推進する
- 森林を適正に保全・活用する

各主体をつなぐ取組や 公民連携の取組例

- 緑化活動団体等の活動を把握し、市民等とのマッチングを進める

関連する 主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち

想定される公民の役割



個人や家庭

- 自然環境に配慮した生活を送る
- 積極的に環境保全活動へ参加する
- 自然を体験し、学ぶことができるイベントなどに参加する
- 自然環境や生物多様性などに関する知識を深める



事業者・団体・地域など

- 自然環境に配慮した事業や活動を行う
- 自然環境や生物多様性について学ぶ機会を創出する
- ボランティアを養成し、環境ツアーを開催するなど、環境保全につながる活動を支援する
- 身近な地域での環境保全活動を行う



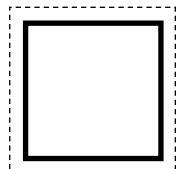
行政

- 市内にある貴重な自然環境を保全するとともに、生物多様性の保全につながる活動を支援する
- 水と緑をつなぐネットワークづくりを推進する

各主体をつなぐ取組や 公民連携の取組例

- 自然環境保全活動団体等の活動状況を把握し、市民等とのマッチングを進める

関連する 主な個別計画



個別目標 環境の負荷を減らした循環共生型の地域社会がつけられている

個別目標の 方向性

① ごみの減量と資源の有効活用など4Rを進める

現状と課題

現代の大量生産・大量消費・大量廃棄の社会経済システムにより、市民の暮らしは便利で豊かになりましたが、地球環境に大きな負荷をかける結果となっています。

限りある資源を大切に、ごみの減量や4R（Refuse「リフューズ」、Reduce「リデュース」、Reuse「リユース」、Recycle「リサイクル」）の推進など、市民一人ひとりが身近な取組を進めていくことが求められています。

みんなでめざそう値

指標A リサイクル率

〇% ▶ 〇%

指標B 市民1人1日当たりの
一般家庭系ごみの排出量

〇t ▶ 〇t

指標C 事業系ごみの年間排出量

〇t ▶ 〇t

※数値はいずれも 2022年▶2026年

特に関連する
SDGs
目標



個別目標の 方向性

② 省エネルギー化や再生可能エネルギーによる脱炭素を推進し、地球温暖化防止を進める

現状と課題

地球温暖化が重要視される中、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量削減は、地球規模での喫緊の課題であり、国や本市においても2050年のカーボンニュートラルの実現をめざした取組を進めています。

環境を守り、次世代に引き継いでいくために、省エネルギー化や脱炭素社会の実現に向けて、市民一人ひとりが地球環境への関心を持ち、環境に配慮した生活を営むことや、市民・事業者・行政が一体となって循環型社会を構築していくことが求められています。

みんなでめざそう値

指標A 省エネルギーや再生可能エネルギー
の活用を行っている市民の割合

〇% ▶ 〇%

(2022年) (2026年)

指標B 市民1人当たりの
年間温室効果ガス排出量

〇t-CO₂ ▶ 〇t-CO₂

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標





ごみの減量化や資源化が進み、排出されるごみの量が減るとともに、排出されたごみが適正に処理され、市民一人ひとりが地球環境への負荷軽減に配慮した行動をとっていることをめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- 家庭や地域でごみの分別や不用品についての知識・情報を共有する
- ごみの減量に努め、積極的に4Rに取り組む
- エコバッグやマイボトルを利用したり、環境に配慮した製品を購入する



事業者・団体・地域など

- 事業者は、過剰包装の廃止やラベルレスの製品を提供する
- 事業者や団体は、ごみの分別と適切な排出に努める
- 地域でごみの分別や4Rなどについての知識や情報を共有する



行政

- 資源の有効活用を徹底し、ごみの減量化を推進する
- ごみを適切に処理する

各主体をつなぐ取組や 公民連携の取組例

- リサイクル活動団体等の活動を把握し、市民等とのマッチングを進める

関連する 主な個別計画



個人や家庭

- 食品ロスの削減や節電など、普段の生活の中で脱炭素を意識した行動を心がける
- 地球環境に配慮した生活を心がける
- 省エネルギー化や再生可能エネルギーの導入に努める



事業者・団体・地域など

- 事業者は、脱炭素製品の開発や販売を行う
- 事業者は、事業所のLEDへの付け替えやペーパーレスの推進など、環境に配慮する
- 事業者や団体は、省エネ活動に積極的に取り組む
- 地域で省エネルギーに関する情報を共有する
- 地域で省エネ活動に取り組む



行政

- 省エネルギー化や再生可能エネルギーの推進による地球温暖化対策を推進する

各主体をつなぐ取組や 公民連携の取組例

- 省エネ活動団体等の活動を把握し、市民等とのマッチングを進める

関連する 主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

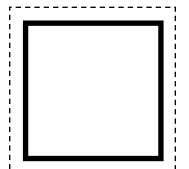
健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち



基本目標 賑わいと活力を創造するまち

【 個別目標 と 個別目標の方向性 】

活発な経済活動が行われている

- ① 地域の事業者や個人事業主が活躍し、事業継続ができる環境づくりを進める
- ② 新たに市内で創業する事業者や個人事業主が、活動しやすい環境づくりを進める
- ③ 農業や水産業など、地域で安全な食が生産され、消費される環境づくりを進める

観光資源が活かされている

- ① 関西国際空港が活かされるとともに、観光資源が充実し、観光客が過ごしやすい環境づくりを進める

岸和田の魅力が伝わっている

- ① まちのイメージを向上させる環境づくりを進める

賑わいや活力を支える基盤が整っている

- ① 地域の活性化を導く拠点の形成を進める
- ② 拠点へのアクセス性の向上を図る
- ③ 適正な土地利用と景観形成を進める

個別目標 活発な経済活動が行われている

個別目標の 方向性

① 地域の事業者や個人事業主が活躍し、事業継続ができる環境づくりを進める

現状と課題

本市には、農林水産業をはじめ、製造業、小売業など、様々な事業者が事業を行っています。

また、地域に密着した事業者や個人事業主は、多様化する課題に対応した製品・サービスの提供や、雇用機会の創出を行うなど、地域活性化にとって必要不可欠な存在です。

本市においては、引き続き、事業者や個人事業主の「稼ぐ力」を向上させる支援を行い、地域活性化につなげることが求められています。

みんなでめざそう値

指標A 市内民営事業所数

○事業所 ▶ ○事業所

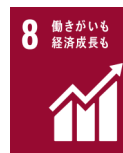
(2022年) (2026年)

指標B 付加価値額

○百万円 ▶ ○百万円

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標



個別目標の 方向性

② 新たに市内で創業する事業者や個人事業主が、活動しやすい環境づくりを進める

現状と課題

産業の新陳代謝を進め地域の活力を強化するためには、創業を支援し、新たな事業者を増やしていくことが重要です。

本市においても、引き続き、創業時の事務手続きをはじめ、ビジネスモデルの構築、資金調達など、多角的に支援していくことが求められています。

みんなでめざそう値

指標A 新規創業件数

○件 ▶ ○件

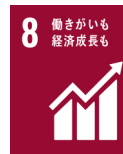
(2022年) (2026年)

指標B 創業支援者件数

○件 ▶ ○件

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標



市内の資源が効果的に活用され、多様な産業に携わる事業者や個人事業主、創業希望者などが活躍し、地域経済が活性化していることをめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- 地域の商店や事業者などを利用し、地産地消に努める
- 市内で生み出される地域資源（商品・サービスなど）の魅力を知り、発信する



事業者・団体・地域など

- 事業者は、積極的に「稼ぐ力」の向上に努める
- 事業者は、岸和田産を積極的に提供・販売する
- 地域の企業や資源の魅力を発信する



行政

- 事業者等の経営や活動を支援する
- 地域資源やまちづくりの情報を収集し、発信を効果的に行う（P.81再掲）

各主体をつなぐ取組や 公民連携の取組例

- 地域の企業の魅力を発信し、企業間や学生とのマッチングを支援する
- 異業種産業の連携を支援する

関連する 主な個別計画



個人や家庭

- 地域の企業や資源の魅力を知り、発信する



事業者・団体・地域など

- 地域の企業や資源の魅力を発信する



行政

- 企業誘致や創業を支援する
- 地域資源やまちづくりの情報を収集し、発信を効果的に行う（P.81再掲）

各主体をつなぐ取組や 公民連携の取組例

- 企業誘致や創業を支援する
- 地域資源やまちづくりの情報を収集し、発信を効果的に行う（P.81再掲）

関連する 主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

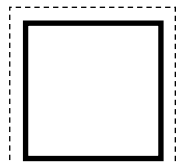
健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち



個別目標 活発な経済活動が行われている

個別目標の 方向性

③ 農業や水産業など、地域で安全な食が生産され、 消費される環境づくりを進める

現状と課題

本市は、海から山までの資源が豊かであるほか、都市近郊地であるというメリットを生かして農水産業が活発である一方、担い手の高齢化や後継者不足、異常気象等による生産量不足などの課題に直面しています。

引き続き、これらの課題に対応する支援策とともに、6次産業化などさらなる消費の拡大に資する取組を推進することが求められています。

みんなでめざそう値

指標A 農産物・海産物の直販所の来場者数

〇人 ▶ 〇人

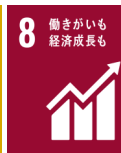
(2022年) (2026年)

指標B 地元産の食品を優先的に買う
市民の割合

〇% ▶ 〇%

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標



市内の資源が効果的に活用され、多様な産業に携わる事業者や個人事業主、創業希望者などが活躍し、地域経済が活性化していることをめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- 地域の産業の魅力を知り、発信する
- 積極的に地産地消に努める



事業者・団体・地域など

- 生産者は、安心して安全な生産に努める
- 生産者は、消費者に生産者の顔が見える商品を提供する
- 生産者は、地域資源を活用し新たな価値の創出を推進する
- 地域の産業の魅力を発信する



行政

- 農業・漁業生産を維持するための支援を行い、地域で消費できる環境を整える
- 農地の適正な保全・活用を支援する
- 地域資源やまちづくりの情報を収集し、発信を効果的に行う(P.81再掲)

各主体をつなぐ取組や 公民連携の取組例

- 農業経営を支援する
- 地域の産業の魅力を発信する
- 水産業の新たな経営体制の構築と魅力発信

関連する 主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

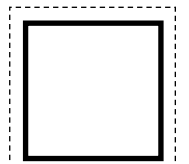
健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち



個別目標 観光資源が活かされている

個別目標の 方向性

- ① 関西国際空港が活かされるとともに、
観光資源が充実し、観光客が過ごしやすい環境づくりを進める

現状と課題

本市には、関西国際空港へのアクセス性の良さや、岸和田城やだんじり祭をはじめとする歴史文化、自然など、強みや魅力ある観光資源が存在していますが、これまで以上にこれらをつなぐ仕組みや観光ルートの構築が求められています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、海外からの誘客が見込めない中、あらためて国内に向けたマイクロツーリズムの視点を取り入れるなど、時流に応じた取り組みが重要となっています。

みんなでめざそう値

指標A 1年間の主要観光施設及び
イベント等への入込客数

○人 ▶ ○人
(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標





観光資源の活用により魅力を高めることで、国内・国外から多くの旅行者が訪れ、賑わっていることをめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- 観光資源を知り、SNSなどを活用した情報発信を行う
- これまでの観光資源を大切にしつつ、時代に応じた磨き上げを行う
- 新たな観光資源の創出に努める
- 観光客におもてなしの心で接する



事業者・団体・地域など

- これまでの観光資源を大切にしつつ、時代に応じた磨き上げを行う
- 新たな観光資源の創出に努める
- 事業者は、観光客向けのサービスを充実させる



行政

- 観光客の受け入れ体制を整える
- これまでの観光資源を大切にしつつ、時代に応じた磨き上げを行う
- 広域観光を推進する
- 新たな観光資源の創出を支援する

各主体をつなぐ取組や 公民連携の取組例

- 観光ルートを通して地域の魅力を発信する
- インフルエンサーなどにより泉州一体をカテゴリー別にアピールする
- 観光ルートと合わせたレンタサイクルの活用を促進する

関連する 主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

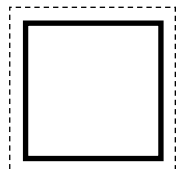
健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち



個別目標 岸和田の魅力が伝わっている

個別目標の 方向性

① 岸和田の魅力を活用し、まちのイメージの向上を進める

現状と課題

本市には、観光や文化、農・水産物、特産品など多くの地域資源や魅力がありますが、市内外問わず、認知度に差があるものと考えられます。

地域資源や魅力について、市民一人ひとりが知り、そして、理解することに取り組み、再認識したまちの魅力を発信・PRしていくことが求められています。

みんなでめざそう値

指標A 市外の人々の好感度

〇% ▶ 〇%

(2022年) (2026年)

指標B 市のSNSによる情報発信数

〇件 ▶ 〇件

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標





市民が岸和田の資源や魅力を理解し、市内外に広く認知され、
まちのイメージが向上していることをめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- 地域資源を知り、SNSなどを活用した情報発信を行う
- まちのイメージ向上につながる取組を進める



事業者・団体・地域など

- 地域資源などを活用し、岸和田のPRに取り組む
- 市民や地域とともに、まちづくり活動に取り組む



行政

- 地域資源やまちづくりの情報を収集し、発信を効果的に行う

各主体をつなぐ取組や
公民連携の取組例

関連する
主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

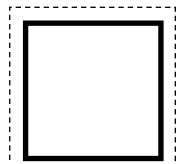
健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち



個別目標 賑わいや活力を支える基盤が整っている

個別目標の 方向性

① 地域の活性化を導く拠点の形成を進める

現状と課題

人口減少や超高齢社会が進展する中、市民生活や経済活動などの縮小や負のスパイラルにより、まちの衰退が懸念されます。

これらの衰退を都市構造の視点から食い止めるためには、無秩序な市街地の拡散を抑え、様々な機能が集積した拠点や社会・市場のニーズに的確に対応した拠点を適切に配置・形成することが必要です。

近年、様々な機能が集積した拠点が丘陵部のゆめみヶ丘に整備されていますが、引き続き、地域の活性化につながる拠点の形成が求められています。

みんなでめざそう値

指標A 拠点の整備に関する指標 ※調整中



(2022年) (2026年)

指標B 市内鉄道駅(7駅)の1日平均乗車人員



(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標



個別目標の 方向性

② 拠点へのアクセス性の向上を図る

現状と課題

適切に配置・形成された拠点を活かし、市民生活や経済活動の向上を図るには、拠点へのアクセス性を高めることが重要です。

引き続き、道路や公共交通など、交通手段の充実が求められています。

みんなでめざそう値

指標A 拠点へのアクセス性を図る指標
※調整中



(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標





適正な土地利用に基づき、拠点や交通網などの地域の活性化を導く基盤が整っていることをめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- 拠点が快適な場所となるよう、違法駐車・駐輪をしないなど、拠点環境の向上に努める
- 地域の店舗や医療・福祉施設などの事業所を利用する



事業者・団体・地域など

- 事業者は、拠点への集積や、拠点の形成に協力する



行政

- 地域の活性化につながる新たな拠点の整備を進める
- 市の中心部にふさわしいまちづくりを進める
- 駅の周りを安全で利便性の高い空間にする
- 港湾機能の充実を図る

各主体をつなぐ取組や
公民連携の取組例

関連する
主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち

想定される公民の役割



個人や家庭

- 路線バス・コミュニティバスなどの公共交通機関を積極的に利用する
- 公共交通機関のみならず、自転車など多様な移動手段を確保する
- スムースな交通の妨げとならないよう、交通ルールやマナーを遵守する



事業者・団体・地域など

- 交通利便性の向上のため、市民と連携・協力する
- 事業者は、交通利便性を向上させるサービスを提供する

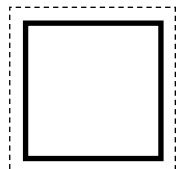


行政

- 市内幹線道路の整備や市道の適正な管理を推進する
- 広域幹線道路の整備を推進する
- 公共交通機関を利用しやすい環境づくりを進める
- 地域性に応じた生活交通の確保を推進する

各主体をつなぐ取組や
公民連携の取組例

関連する
主な個別計画



個別目標 賑わいや活力を支える基盤が整っている

個別目標の 方向性

③ 適正な土地利用と景観形成を進める

現状と課題

土地はまちの限られた資源であり、市民生活や経済活動をはじめ、すべての共通の基盤となるものであるため、引き続き、社会情勢の変化や本市の特性を踏まえ、適正な土地利用を進めることが求められています。

景観については、岸和田らしい景観を形成するため、市民や事業者、行政などが互いの立場を理解しながら協力することが必要です。

みんなでめざそう値

指標A

景観がよく保全されていると感じている市民の割合

〇% ▶ 〇%

(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標





適正な土地利用に基づき、拠点や交通網などの地域の活性化を導く基盤が整っていることをめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- 景観を大切にし、配慮したまちづくりを進める



事業者・団体・地域など

- 事業者は、建築や開発行為の際、法令を遵守し、地域の環境や土地利用の方向性に配慮する
- 景観に配慮した活動を進める



行政

- 計画的で適正な土地利用や都市施設の配置を誘導する
- 良好な街並みと景観の形成を推進する

各主体をつなぐ取組や
公民連携の取組例

関連する
主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

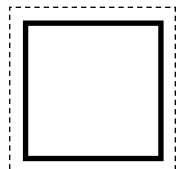
健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち



基本目標 みんなでつくる持続可能なまち

【 個別目標 と 個別目標の方向性 】

みんなが主役の協働・連携したまちづくりが行われている

- ① 地域の担い手が育ち、まちづくり活動が活発に行われている環境づくりを進める
- ② 当事者意識の醸成とともに、様々な主体が力を発揮し、協働・連携できる環境づくりを進める

持続可能で信頼される行政になっている

- ① 業務の効率的かつ効果的な推進に資する職員の育成を進める
- ② 適正で効率的かつ効果的な業務の実施を進める
- ③ 行政手続きが便利になる環境づくりを進める
- ④ 安定的な歳入確保と適切な歳出管理を進める
- ⑤ 市独自の歳入確保を進める

個別目標 みんなが主役の協働・連携したまちづくりが行われている

個別目標の 方向性

① 地域の担い手が育ち、 まちづくり活動が活発に行われている環境づくりを進める

現状と課題

まちづくりは、地域において市民自らの手で進めていくことが重要です。しかし、少子高齢化に伴うリーダーシップを担う人材の減少、都市化による既存住民と転入者のつながりの希薄化などにより、地域の担い手不足が深刻な課題になっています。

引き続き、地域の取組に対する支援を行うとともに、まちづくりに参画する市民の育成や発掘に努める必要があります。

みんなでめざそう値

指標A この1年間にボランティア活動や地域の自治活動に参加したがある市民の割合

〇% ▶ 〇%
(2022年) (2026年)

指標B 市内のNPO法人数
〇法人 ▶ 〇法人
(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標



個別目標の 方向性

② 当事者意識の醸成とともに、様々な主体が力を発揮し、 協働・連携できる環境づくりを進める

現状と課題

今後の社会は、様々な課題が複雑に絡み合い、さらなる人的・経済的な資源の制約が増すと想定されます。このような中、豊かで暮らしやすい地域社会をめざすには、市民・事業者・行政などがこれまで以上に協力し合い、まちづくりを進めていく必要があります。

本市においては、引き続き、それぞれの主体のまちづくり意識を醸成し、協働のまちづくりを推進することが求められています。

みんなでめざそう値

指標A 市ウェブサイトへのアクセス数
〇件 ▶ 〇件
(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標





想定される公民の役割



個人や家庭

- 地域の取組について関心を持ち、理解する
- 地域で自分にできることを考える
- コミュニティ活動やボランティアをはじめ、地域のまちづくり活動や運営に積極的に参加する



事業者・団体・地域など

- 誰もが参加しやすいきっかけづくりや仕組みを考える
- 世代間交流の機会をつくるなど、地域のつながりを創出する
- 地域のことは、地域のみんなで考え、決める
- 各団体の取組を見える化する



行政

- 地域のコミュニティ活動を支援する
- 市民活動に参加しやすい環境づくりを進める

各主体をつなぐ取組や 公民連携の取組例

- 地域の取組や活動など情報を一元化し、共有できるようにする
- 住民や事業者などが一体となったまちづくりを進める

関連する 主な個別計画



個人や家庭

- 自治基本条例や市の取組に興味を持ち、理解・参画する
- 個人や家庭でできることは、責任をもって行う
- 地域で自分にできることを考え、行動する
- 選挙の投票に行く
- 市議会の運営に関心をもつ



事業者・団体・地域など

- 事業者や団体は、地域の一員として地域の取組に積極的に協力する
- 地域でできることは、責任をもって行う



議会

- 公正性、透明性、信頼性を確保し、市民に開かれた議会運営を行う
- 市民にとって、分かりやすい議会運営に努める
- 市民の傍聴の意欲を高める議会運営を行う



行政

- 分かりやすい協働・参画の仕組みをつくる
- 市としての一体感を醸成する
- 統計情報の管理とともに、市民との情報共有を推進する
- 選挙を適正かつ円滑に執行する
- 市議会の円滑な運営を支援する

各主体をつなぐ取組や 公民連携の取組例

- それぞれの主体性を保ちながら、活動をつなぐ

関連する 主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

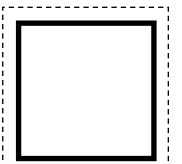
健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち



個別目標 持続可能で信頼される行政になっている

個別目標の 方向性

① 業務の効率的かつ効果的な推進に資する職員の育成を進める

現状と課題

先端技術を活用するスマート自治体への転換が求められている中、それら技術の活用のためには、個々の職員の能力開発に取り組むことが求められています。

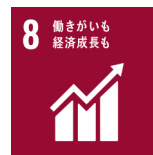
また、これまで前例踏襲主義やコスト・サービス意識の欠如など、厳しい指摘がなされてきたことを踏まえ、引き続き、効果的・効率的な行政運営がなされるよう、職員一人ひとりの意識向上に努める必要があります。

みんなでめざそう値

指標A 人事考課における「自己能力開発への取組状況」の平均値

Op ▶ Op
(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標



個別目標の 方向性

② 適正で効率的かつ効果的な業務の実施を進める

現状と課題

先端技術を活用するスマート自治体への転換が求められている中、それら技術の活用のためには、総合的な組織力の向上、業務の効率化・高度化に取り組むことが求められています。

また、これまでの厳しい財政状況からの新たな展開のため、今後は、上記に加え役割分担を踏まえた民間活力の導入、広域的な連携などによる行政の効率化・高度化など、行財政の構造改革に取り組む必要があります。

みんなでめざそう値

指標A ペーパーレス会議の開催件数

〇件 ▶ 〇件
(2022年) (2026年)

指標B AIやRPAの導入事務事業数

〇事業 ▶ 〇事業
(2022年) (2026年)

特に関連する
SDGs
目標





効率的な行政運営と安定的な財政運営に努め、市民福祉の向上のための的確な行政サービスを提供することにより、市民から信頼される行政になっていることをめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- 市の取組に興味を持つ



事業者・団体・地域など

- 市の取組に興味を持つ



行政

- 政策形成及びマネジメント能力をもった職員を育てる
- 業務の成果を正しく評価し、職員の適正な配置に努める
- 職員が働きやすく、業務に専念できる良好な職務環境を整える

関連する
主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなであつくる
持続可能なまち

想定される公民の役割



個人や家庭

- 市の取組に関心を持ち、市政に関する認識を深める
- 統計調査に協力する



事業者・団体・地域など

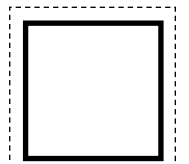
- 地域課題の解決や地域活性化等に繋がる事業者・団体のノウハウ、アイデア、技術等を行政に提案・情報提供をする
- 統計調査に協力する



行政

- 目標の達成に向けて、計画的かつ適切な施策の推進及び進行管理、公平公正な事務の遂行に努める
- 広域的視点をもって、時代に応じた施策を積極的に推進する
- 合理的な組織編成と適正な人員管理に努める
- 市及び公営企業の経営の効率性を確保する
- ICTを活用し、効率的に事務を行う
- 公共工事や物品購入などの品質確保を図る
- 市の財産を適正に管理する
- 統計データを適切に管理する
- 個人情報保護の徹底を図る

関連する
主な個別計画



個別目標 持続可能で信頼される行政になっている

個別目標の 方向性

③ 行政手続きが便利になる環境づくりを進める

現状と課題

スマート自治体への転換が求められている中、市民がその利益を享受できるようICT技術などを積極的に活用し、行政手続きの利便性の向上などが求められています。

また、引き続き、市民ニーズを的確に把握し、行政サービスの改善・向上に取り組むとともに、職員のマナー意識の向上やレベルの高い接客を行い、市民が親しみ利用しやすい市役所をめざす必要があります。

みんなでめざそう値

指標A

オンライン申請が可能な
事務手続き数

○手続き ▶ ○手続き

(2022年)

(2026年)

特に関連する
SDGs
目標



個別目標の 方向性

④ 安定的な歳入確保と適切な歳出管理を進める

現状と課題

人口減少に伴う税収減少が予想される中、適正な歳出管理を進めるとともに、税を安定的に確保することが求められています。

また、市民負担の公平性の確保を図るために、収納率の向上や滞納額の削減に、引き続き対応する必要があります。

みんなでめざそう値

指標A

経常収支比率

○% ▶ ○%

(2020年)

(2024年)

特に関連する
SDGs
目標





効率的な行政運営と安定的な財政運営に努め、市民福祉の向上のための的確な行政サービスを提供することにより、市民から信頼される行政になっていることをめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- オンラインによる行政手続きなどを積極的に活用する



事業者・団体・地域など

- オンラインによる行政手続きなどを積極的に活用する



行政

- 市民が利用しやすい窓口にする
- 必要な行政サービスがオンラインや身近で手軽に受けられる環境を整える

関連する
主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち

想定される公民の役割



個人や家庭

- 適正に申告し、期限を守って納税する
- 受益者負担の考え方を踏まえて、各種使用料などを納付する



事業者・団体・地域など

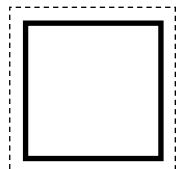
- 事業者は、適正に申告し、期限を守って納税する
- 受益者負担の考え方を踏まえて、各種使用料などを納付する



行政

- 市税等を公平かつ適正に課税・収納する
- 中長期の視点で、効果的・効率的な財源配分や単年度収支及び基金・借入金の管理を行う

関連する
主な個別計画



個別目標 持続可能で信頼される行政になっている

個別目標の 方向性

⑤ 市独自の歳入確保を進める

現状と課題

人口減少に伴う税収減少が予想される中、税外収入を安定的に確保することが求められています。

特に競輪事業(公営競技)については、引き続き構造改革に取り組むとともに、競輪の面白さ・楽しさを広くPRするなど、新規のファン獲得策などを推進していく必要があります。

みんなでめざそう値

指標A

公営競技の経営状況に関する指標

※調整中

○

▶

○

(2022年)

(2026年)

指標B

ふるさと寄附受入額

○億円

▶

○億円

(2022年)

(2026年)

特に関連する
SDGs
目標





効率的な行政運営と安定的な財政運営に努め、市民福祉の向上のための的確な行政サービスを提供することにより、市民から信頼される行政になっていることをめざします

想定される公民の役割



個人や家庭

- 税外収入の確保に協力する



事業者・団体・地域など

- 税外収入の確保に協力する



行政

- 公営競技事業を健全に運営する
- 税外収入の確保に努める

関連する
主な個別計画

岸和田の次世代を
育むまち

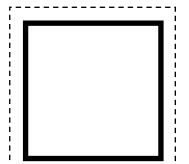
健康で自分らしく
生きられるまち

安全で安心して
暮らせるまち

人と自然が共生した
住みよいまち

賑わいと活力を
創造するまち

みんなでつくる
持続可能なまち



第5次岸和田市総合計画 将来ビジョン・岸和田
第1期 基本計画

●(令和●)年●月

発行 大阪府岸和田市
編集 総合政策部企画課